

平成27年度冷凍野菜等の消費動向調査

調査結果報告書

平成28年3月

独立行政法人農畜産業振興機構

調査概要

P.2

Ⅰ. 全体概要

1.	購入場所	P.4
2-1.	購入品目【スーパーマーケット・生協等】<冷凍野菜>	P.5
2-2.	購入品目【スーパーマーケット・生協等】<冷凍調理食品>	P.6
3-1.	購入品目【コンビニエンスストア】<冷凍野菜>	P.7
3-2.	購入品目【コンビニエンスストア】<冷凍調理食品>	P.8
4-1.	購入品目【百貨店・デパート】<冷凍野菜>	P.9
4-2.	購入品目【百貨店・デパート】<冷凍調理食品>	P.10
5.	購入頻度	P.11
6-1.	購入頻度の高い品目<冷凍野菜>	P.12
6-2.	購入頻度の高い品目<冷凍調理食品>	P.13
7.	購入金額	P.14
8.	購入時の割引率	P.15
9.	価格が高い時の代替品	P.16
10.	利用用途	P.17
11-1.	利用品目【家庭の食事用】<冷凍野菜>	P.18
11-2.	利用品目【家庭の食事用】<冷凍調理食品>	P.19
12-1.	利用品目【弁当用】<冷凍野菜>	P.20
12-2.	利用品目【弁当用】<冷凍調理食品>	P.21
13-1.	利用品目【おつまみ用】<冷凍野菜>	P.22
13-2.	利用品目【おつまみ用】<冷凍調理食品>	P.23
14-1.	利用品目【おやつ用】<冷凍野菜>	P.24
14-2.	利用品目【おやつ用】<冷凍調理食品>	P.25
15.	購入時の重視点	P.26
16.	原産国表示のチェック有無	P.27
17.	安全性に対するイメージ	P.28
18.	味イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜／冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.29
19.	栄養価イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜／冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.30
20.	価格イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜／冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.31
21.	利用理由	P.32
22.	今後の利用回数の増減意向	P.33
23-1.	今後購入意向品目<冷凍野菜>	P.34
23-2.	今後購入意向品目<冷凍調理食品>	P.35
24.	国産品購入時の重視点	P.36

Ⅱ. 性年代・属性区分別集計結果

1-1.	購入頻度<冷凍野菜>①【独身者・単身者】	P.38
1-2.	購入頻度<冷凍野菜>②【共働き世帯】	P.39
1-3.	購入頻度<冷凍野菜>③【専業主婦】	P.40
1-4.	購入頻度<冷凍野菜>④【性別・属性区分別比較】	P.41
1-5.	購入頻度<冷凍調理食品>①【独身者・単身者】	P.42
1-6.	購入頻度<冷凍調理食品>②【共働き世帯】	P.43
1-7.	購入頻度<冷凍調理食品>③【専業主婦】	P.44
1-8.	購入頻度<冷凍調理食品>④【性別・属性区分別比較】	P.45
2-1.	購入時の割引率①【独身者・単身者】	P.46
2-2.	購入時の割引率②【共働き世帯】	P.47
2-3.	購入時の割引率③【専業主婦】	P.48
2-4.	購入時の割引率④【性別・属性区分別比較】	P.49
3-1.	利用用途<冷凍野菜>	P.50
3-2.	利用用途<冷凍調理食品>	P.51
4.	原産国表示のチェック有無	P.52
5.	安全性に対するイメージ	P.53
6-1.	味イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜>	P.54
6-2.	味イメージの比較<冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.55
7-1.	栄養価イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜>	P.56
7-2.	栄養価イメージの比較<冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.57
8-1.	価格イメージの比較<冷凍野菜⇄生鮮野菜>	P.58
8-2.	価格イメージの比較<冷凍調理食品⇄生鮮野菜調理品>	P.59
9-1.	今後の利用回数の増減意向<冷凍野菜>	P.60
9-2.	今後の利用回数の増減意向<冷凍調理食品>	P.61

◆調査テーマ

平成27年度冷凍野菜等の消費動向調査

◆調査目的

消費者の冷凍野菜等(冷凍野菜及び野菜を使用した冷凍調理食品)の購入、利用実態をWeb調査により把握。 ※「冷凍調理食品」とは、野菜がおおむね半分以上を占めている食品。

◆調査方法

Web調査

◆調査期間

平成27年10月23日(金)～10月27日(火)

◆調査地域

全国

◆調査対象者

以下に該当する 計1,500サンプル

- ①20～70歳の男女
- ②冷凍野菜・冷凍調理食品を購入している

◆割付

各年代ごとに①独身者・単身者、②共働き世帯、③専業主婦の3つに区分。 計25セル

年代	属性区分	サンプル数	
		男性	女性
20-29歳	独身者・単身者	男性50	女性50
	共働き世帯	男性50	女性50
	専業主婦	女性100	
30-39歳	独身者・単身者	男性50	女性50
	共働き世帯	男性50	女性50
	専業主婦	女性100	
40-49歳	独身者・単身者	男性50	女性50
	共働き世帯	男性50	女性50
	専業主婦	女性100	
50-59歳	独身者・単身者	男性50	女性50
	共働き世帯	男性50	女性50
	専業主婦	女性100	
60-70歳	独身者・単身者	男性50	女性50
	共働き世帯	男性50	女性50
	専業主婦	女性100	
合計サンプル数		1500	

(注1)共働き世帯:共働き世帯で主に購入する回数が多い男性、共働き世帯で主に購入する回数が多い女性を対象とした。

(注2)一部回答区分については、サンプル数が少ないことから、利用に際しては、この点に留意が必要である。

◆調査項目

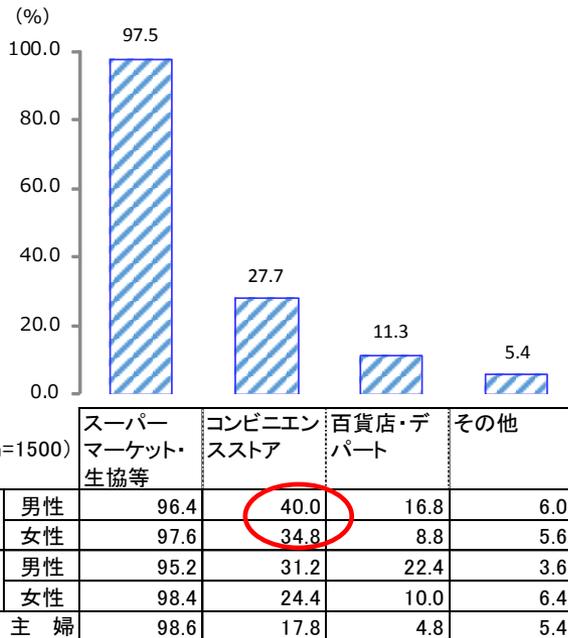
購入場所／購入品目／購入頻度／購入金額／購入時重視点／購入時の割引率／生鮮野菜とのイメージ比較／生鮮野菜調理品とのイメージ比較／利用理由 など

I . 全体概要

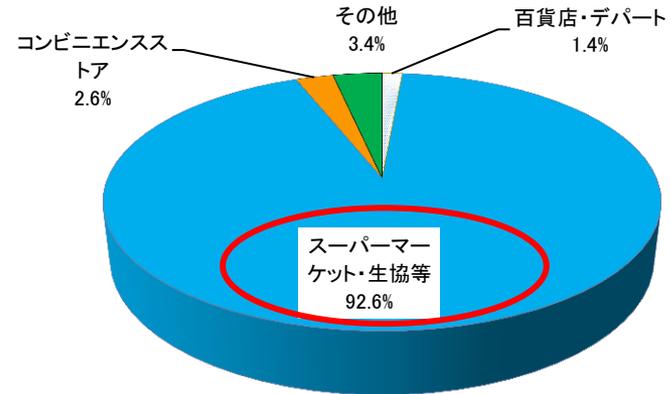
- 『冷凍野菜』及び『冷凍調理商品』を購入する場所は、「スーパーマーケット・生協等」が、97.5%で最も高く、どの属性区分でも90%を超えている。
- 次に高い「コンビニエンスストア」は、27.7%で男女の『独身者・単身者』を中心に購入する者が多くなっている。
- 1年間で購入回数の多い場所については、「スーパーマーケット・生協等」が92.6%と最も高い。購入場所として約30%の割合があったコンビニエンスストアは、少なく2.6%となっている。

Q1 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどこで購入されますか。次の中からあてはまる購入場所をすべてお答えください。(いくつでも)
また、その中で直近1年間に最も購入回数が多い場所をお答えください。(ひとつだけ)

購入場所



最も購入する場所



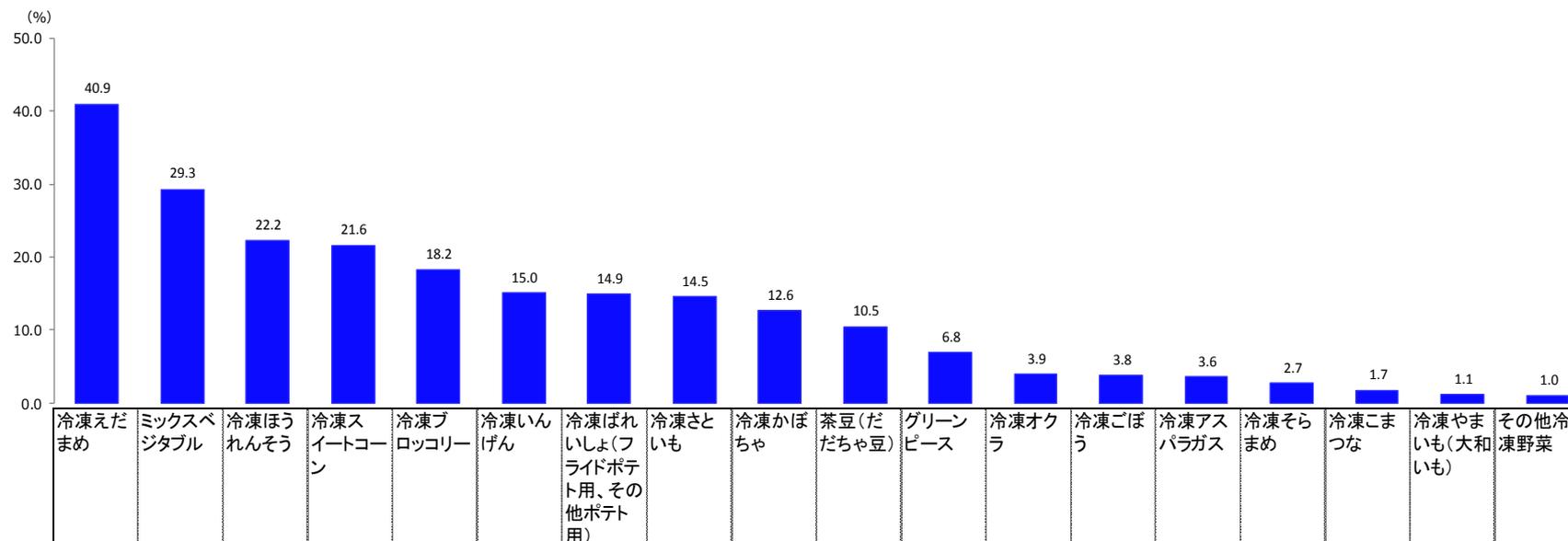
(n=1500)

(n=1500)

- 【スーパーマーケット・生協等】での『冷凍野菜』の購入品目については、「冷凍えだまめ」が40.9%で最も高く、次いで「ミックスベジタブル」が29.3%、「冷凍ほうれんそう」が22.2%、「冷凍スイートコーン」21.6%となっている。

Q3 あなたが、スーパーマーケット・生協等で購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【スーパーマーケット】＜冷凍野菜＞

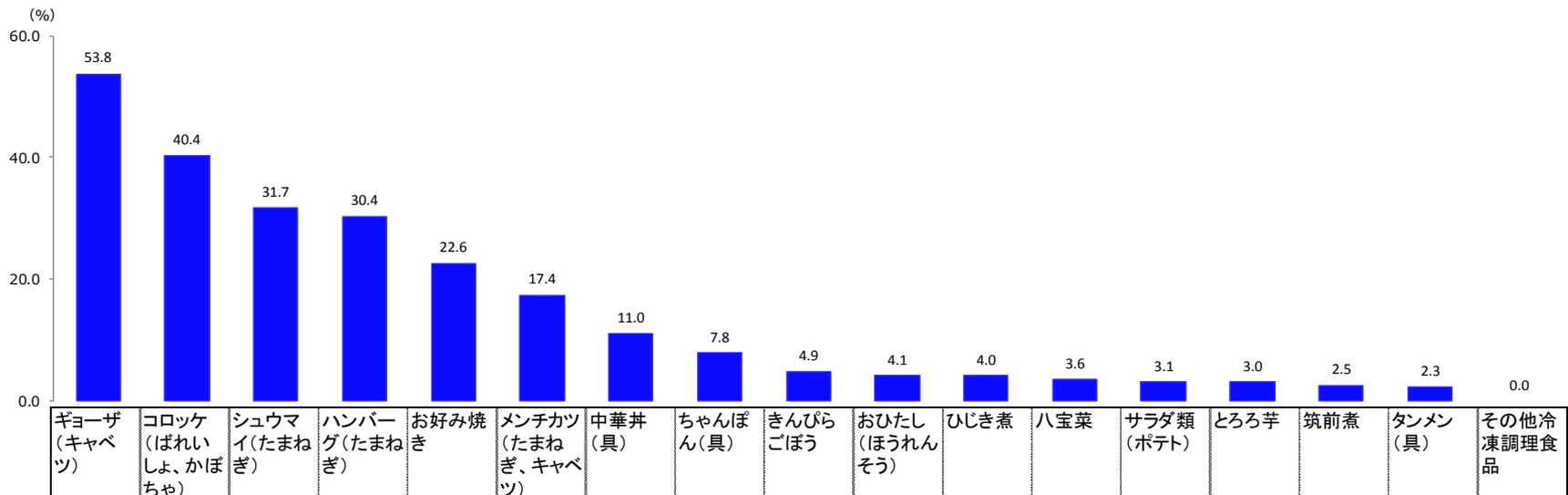


(n=1462)

■【スーパーマーケット・生協等】での『冷凍調理食品』の購入品目については、「ギョーザ(キャベツ)」が53.8%と過半を超え最も高く、次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が40.4%、「シュウマイ(たまねぎ)」が31.7%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が30.4%、「お好み焼き」が22.6%と比較的高くなっており、「メンチカツ(たまねぎ、キャベツ)」17.4%、「中華丼(具)」11.0%となっている。

Q3 あなたが、スーパーマーケット・生協等で購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【スーパーマーケット】＜冷凍調理食品＞

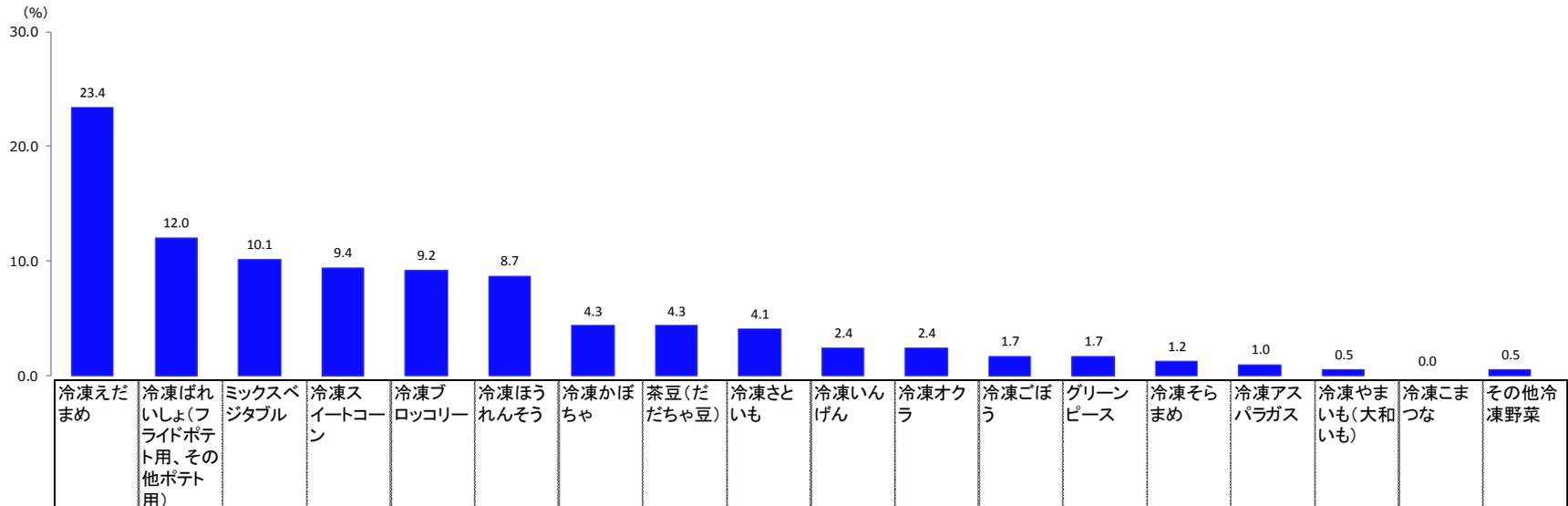


(n=1462)

- 【コンビニエンスストア】での『冷凍野菜』の購入品目については、「冷凍えだまめ」が23.4%で最も高く、次いで「冷凍ばれいしょ(フライドポテト用他)」が12.0%、「ミックスベジタブル」が10.1%となっている。
- 【コンビニエンスストア】では、「冷凍えだまめ」を除いて冷凍野菜の購入は少ない傾向となっている。

Q4 あなたが、コンビニエンスストアで購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【コンビニエンスストア】＜冷凍野菜＞

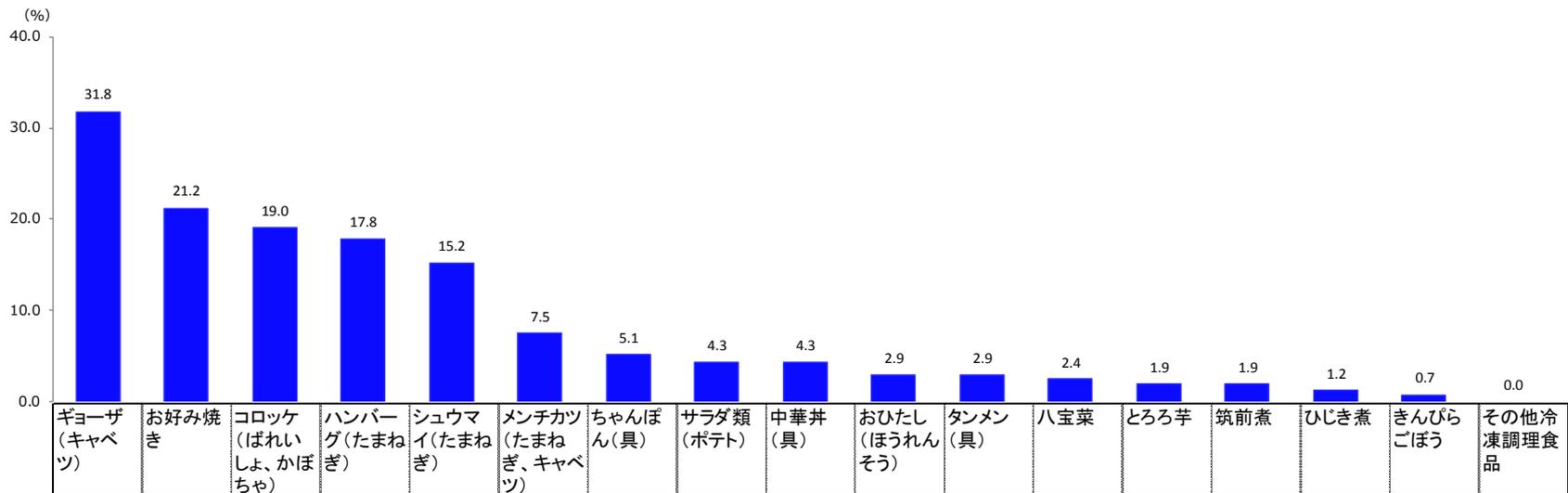


(n=415)

■【コンビニエンスストア】での『冷凍調理食品』の購入品目については、「ギョーザ(キャベツ)」が31.8%で最も高く、次いで「お好み焼き」が21.2%、「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が19.0%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が17.8%、「シュウマイ(たまねぎ)」が15.2%の順で続いており、『冷凍野菜』に比べ調理済みで比較的すぐ食べられる『冷凍調理食品』の購入割合は高くなっている。

Q4 あなたが、コンビニエンスストアで購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【コンビニエンスストア】＜冷凍調理食品＞



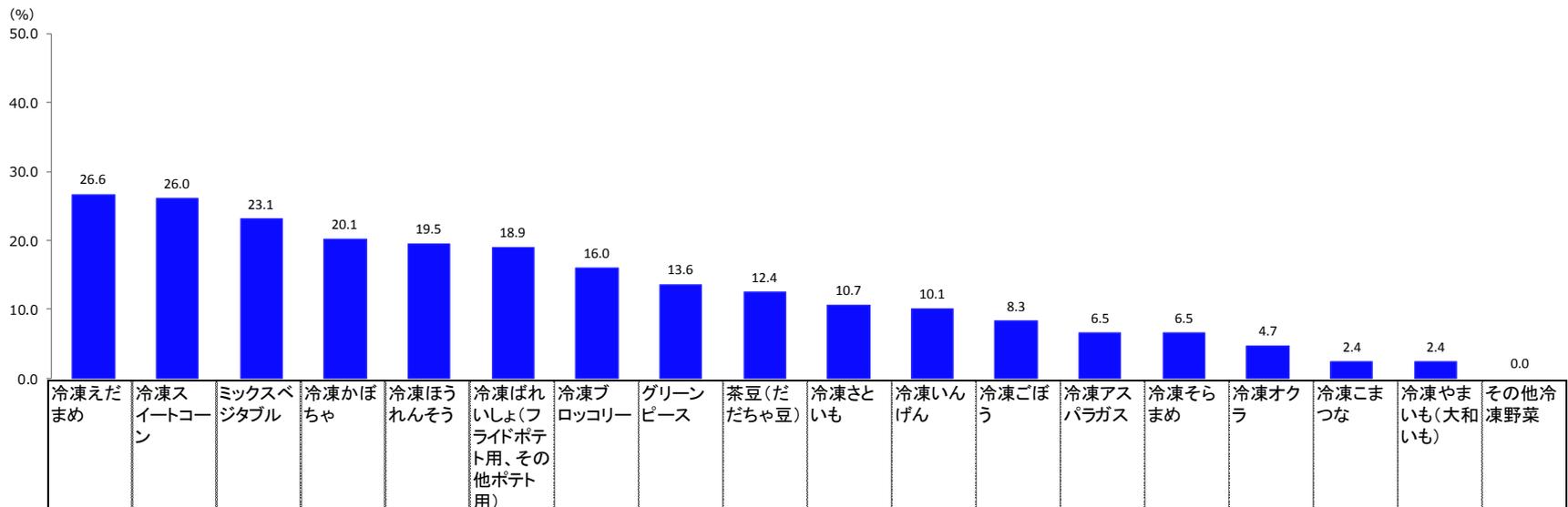
(n=415)

4-1 購入品目【百貨店・デパート】＜冷凍野菜＞

- 【百貨店・デパート】での『冷凍野菜』の購入品目については、「冷凍えだまめ」が26.6%、「冷凍スイートコーン」が26.0%、「ミックスベジタブル」が23.1%、「冷凍かぼちゃ」が20.1%と20%を超えており、次いで「冷凍ほうれんそう」が19.5%、「冷凍ばれいしょ(フライドポテト用他)」が18.9%、「冷凍ブロッコリー」が16.0%となっている。

Q2 あなたが、百貨店・デパートで購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【百貨店・デパート】＜冷凍野菜＞

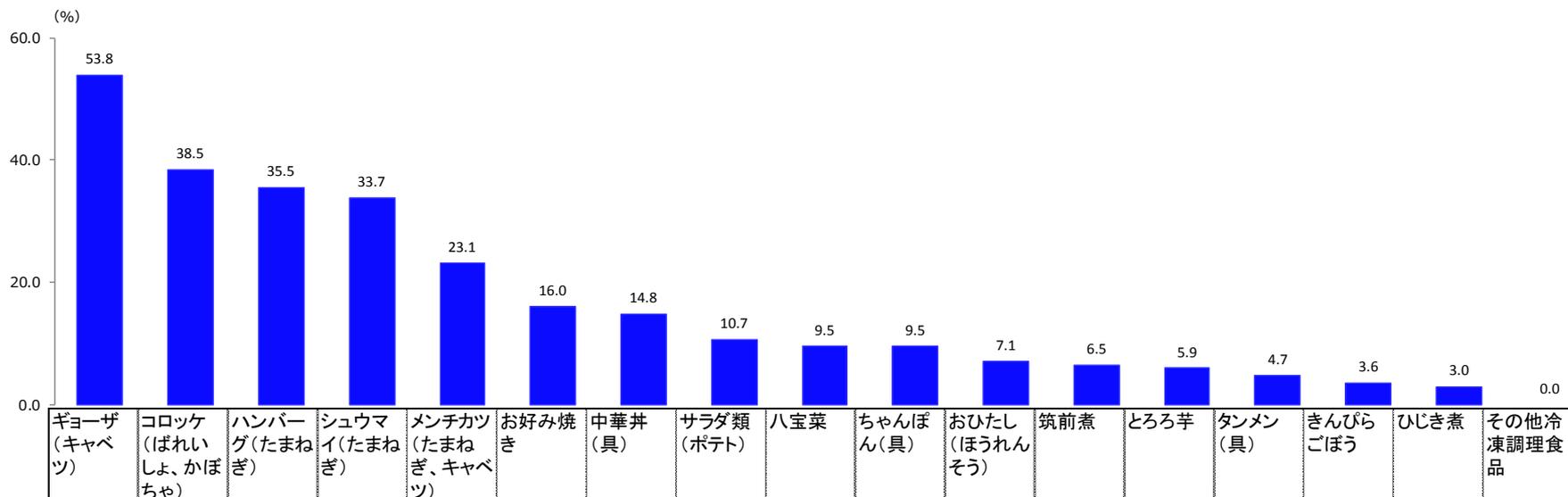


(n=169)

- 【百貨店・デパート】での『冷凍調理食品』の購入品目については、「ギョーザ(キャベツ)」が53.8%と、過半を超え最も高くなっており、次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が38.5%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が35.5%、「シュウマイ(たまねぎ)」が33.7%と高くなっている。

Q2 あなたが、百貨店・デパートで購入している「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をすべてお答えください。(いくつでも)

購入品目【百貨店・デパート】＜冷凍調理食品＞

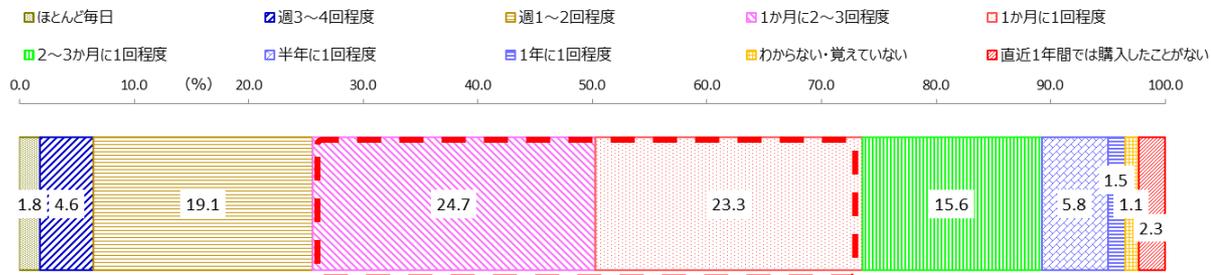


(n=169)

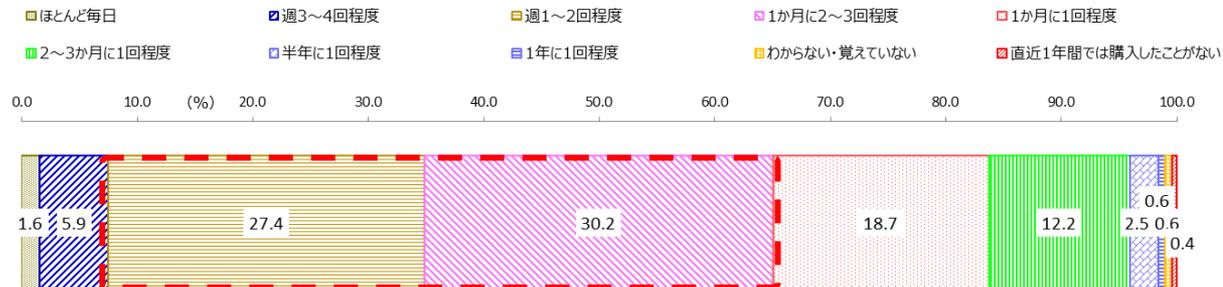
- 『冷凍野菜』の購入頻度については、「1か月に2～3回程度」が24.7%で最も高く、次いで「1か月に1回程度」が23.3%となっており、1か月に1～3回程度購入する割合は、約半数占めている。
- 『冷凍調理食品』の購入頻度については、「1か月に2～3回程度」が30.2%で最も高く、次いで「週1～2回程度」が27.4%となっている。『冷凍野菜』に比べて調理済みで比較的すぐ食べられる『冷凍調理食品』の方が、購入頻度は高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。(それぞれ1つずつ)

購入頻度<冷凍野菜>



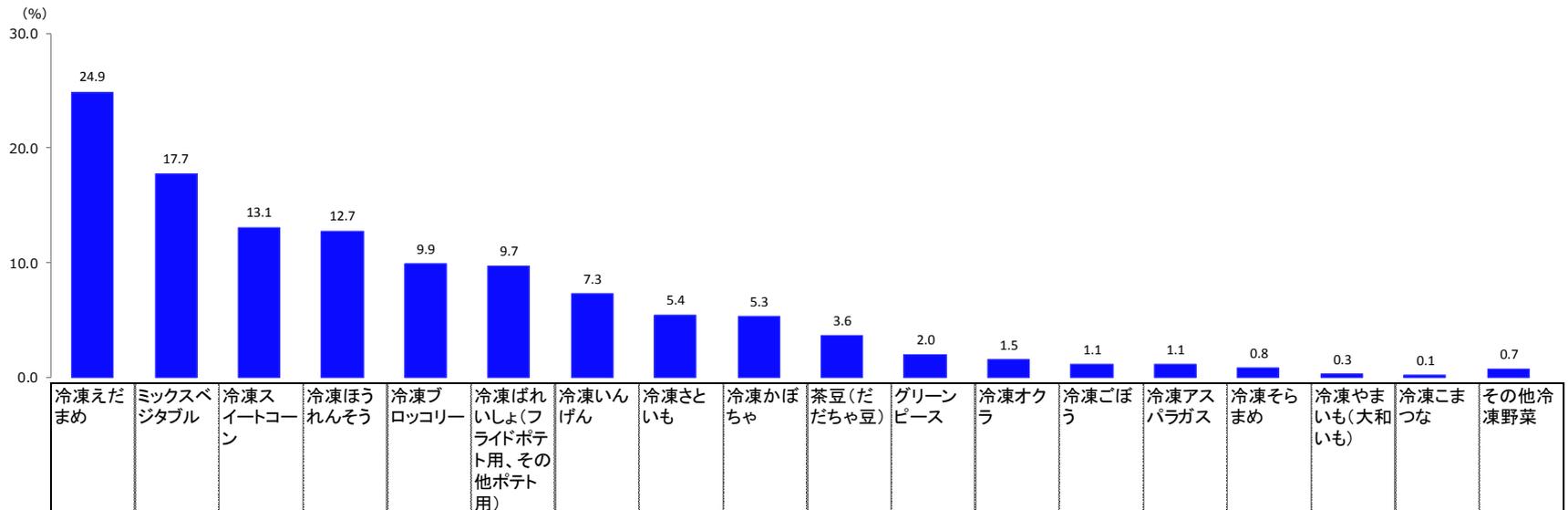
購入頻度<冷凍調理食品>



■ 『冷凍野菜』の購入頻度の高い品目は、どの購入先でも最も購入割合が高かった「冷凍えだまめ」が24.9%で最も高く、次いで「ミックスベジタブル」が17.7%、「冷凍スイートコーン」が13.1%、「冷凍ほうれんそう」が12.7%となっている。

Q7 あなたが購入する「冷凍野菜」「冷凍調理食品」のうち、購入頻度の高い品目を3つまでお答えください。(3つまで)

購入頻度の高い品目＜冷凍野菜＞

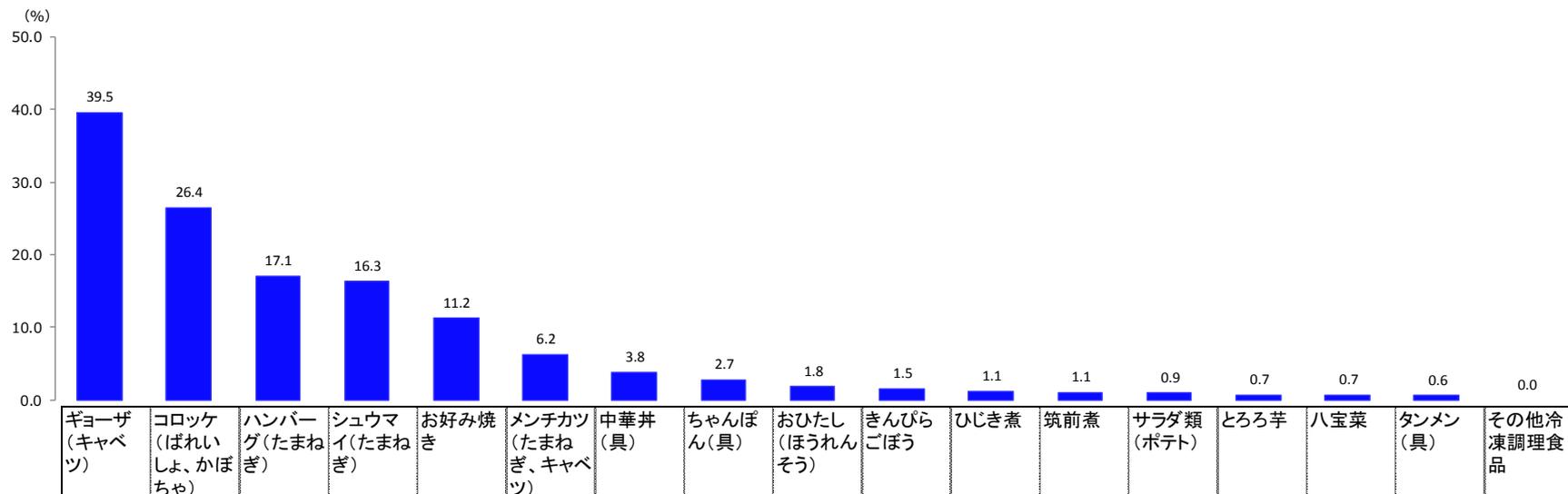


(n=1500)

- 『冷凍調理食品』の購入頻度の高い品目は、どの購入先でも最も購入割合が高かった「ギョーザ(キャベツ)」が39.5%で最も高く、次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が26.4%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が17.1%、「シュウマイ(たまねぎ)」が16.3%となっている。

Q7 あなたが購入する「冷凍野菜」「冷凍調理食品」のうち、購入頻度の高い品目を3つまでお答えください。(3つまで)

購入頻度の高い品目＜冷凍調理食品＞

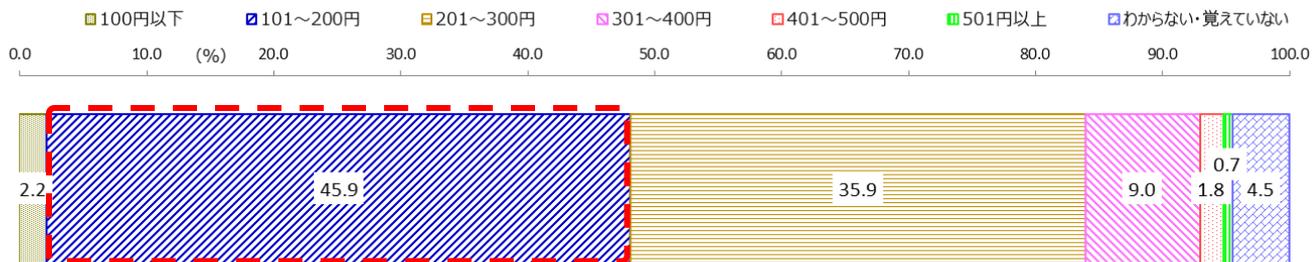


(n=1500)

- 購入金額については、『冷凍野菜』は「101～200円」が45.9%と約半数を占め、比較的低単価の野菜を購入している。
- 『冷凍調理食品』についても、『冷凍野菜』と同様に「101～200円」が40.0%で最も高く、次いで「201～300円」が34.0%となっている。『冷凍野菜』に比べ301円以上が20.7%と高くなっており、比較的高単価の商品も購入されている。

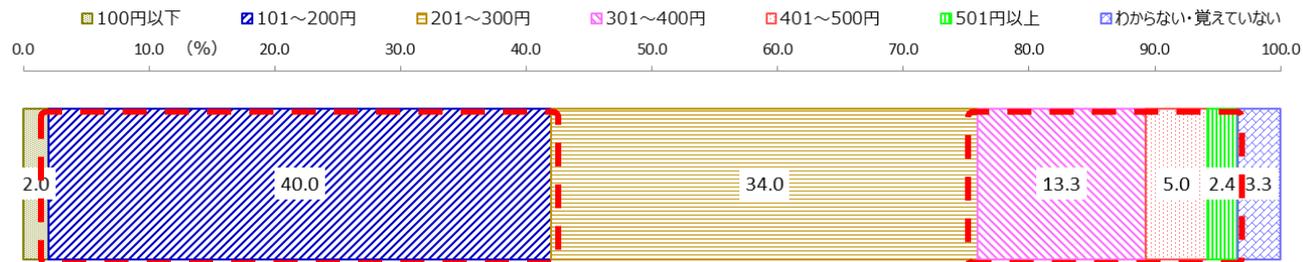
Q8 Q7でお答えの「冷凍野菜」「冷凍調理食品」の1品あたりの購入金額(税込み)をお答えください。(それぞれ1つずつ)

購入金額<冷凍野菜>



(n=1757)

購入金額<冷凍調理食品>

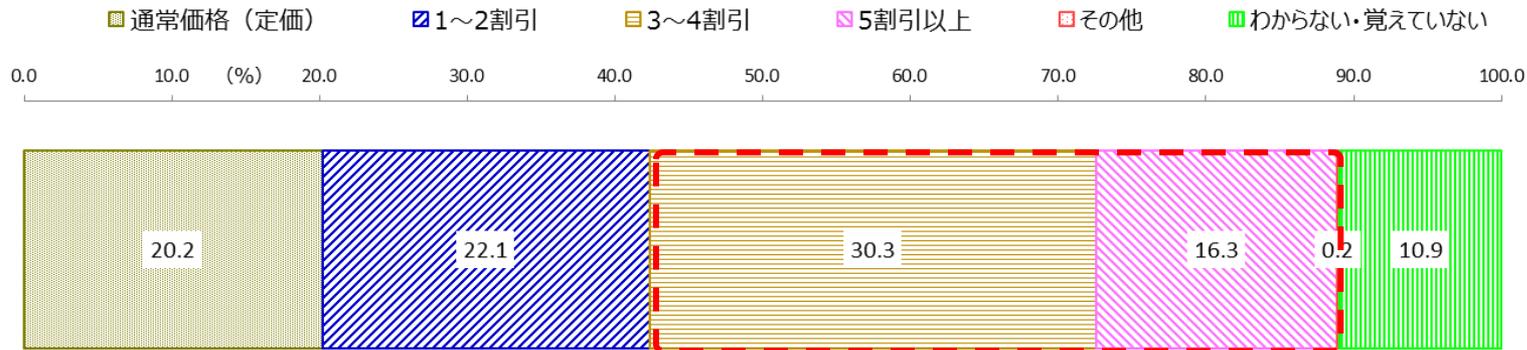


(n=1976)

- 購入時の割引率については、「3～4割引」が30.3%で最も高く、次いで「1～2割引」が22.1%、「通常価格(定価)」が20.2%となっている。
- 「通常価格(定価)」、「1～2割引」で購入するよりも3割引以上で購入する割合が高く、約半数を占めている。

Q9 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に、どの程度の割引率で購入する事が多いですか。次の中から当てはまるものをお答えください。(1つだけ)

購入時の割引率

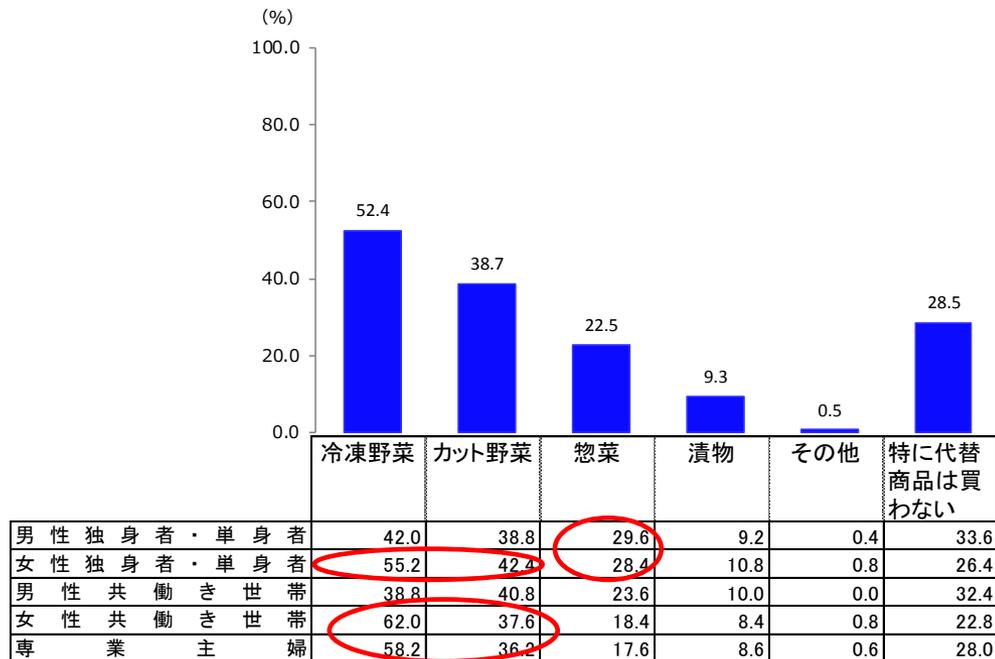


(n=1500)

■ 生鮮野菜が高い時の代替品としては、「冷凍野菜」が52.4%で女性の購入者を中心に最も高く、続いて「カット野菜」が38.7%、「特に代替商品は買わない」が28.5%、「惣菜」が22.5%となっている。女性の購入者は、代替品として「カット野菜」より「冷凍野菜」を購入する割合が高くなっている。また、「惣菜」は、男女とも『独身者・単身者』の購入する割合が高くなっている。

Q10 生鮮野菜の価格が高いとき、あなたが代替として購入する野菜関連商品をお答えください。(いくつでも)

価格が高い時の代替品

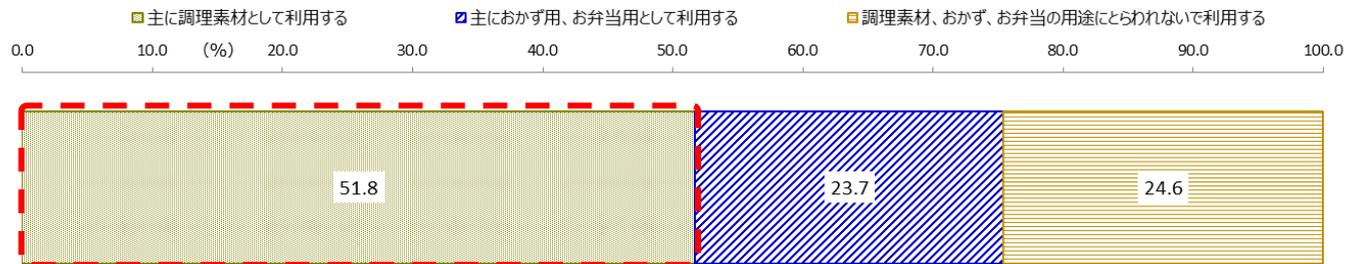


(n=1500)

- 『冷凍野菜』の利用用途については、「主に調理素材として利用する」が51.8%で過半を占めている。
- 『冷凍調理食品』の利用用途については、解凍してすぐ食べられる調理済商品が多いことから、「主におかず用、お弁当用として利用する」が55.8%で過半を占めている。

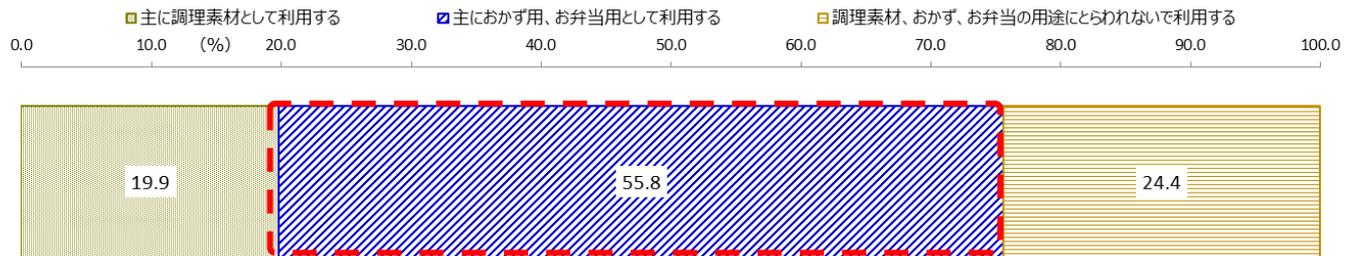
Q11 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主にどのような用途で利用されていますか。(それぞれ1ずつ)

利用用途<冷凍野菜>



(n=1408)

利用用途<冷凍調理食品>

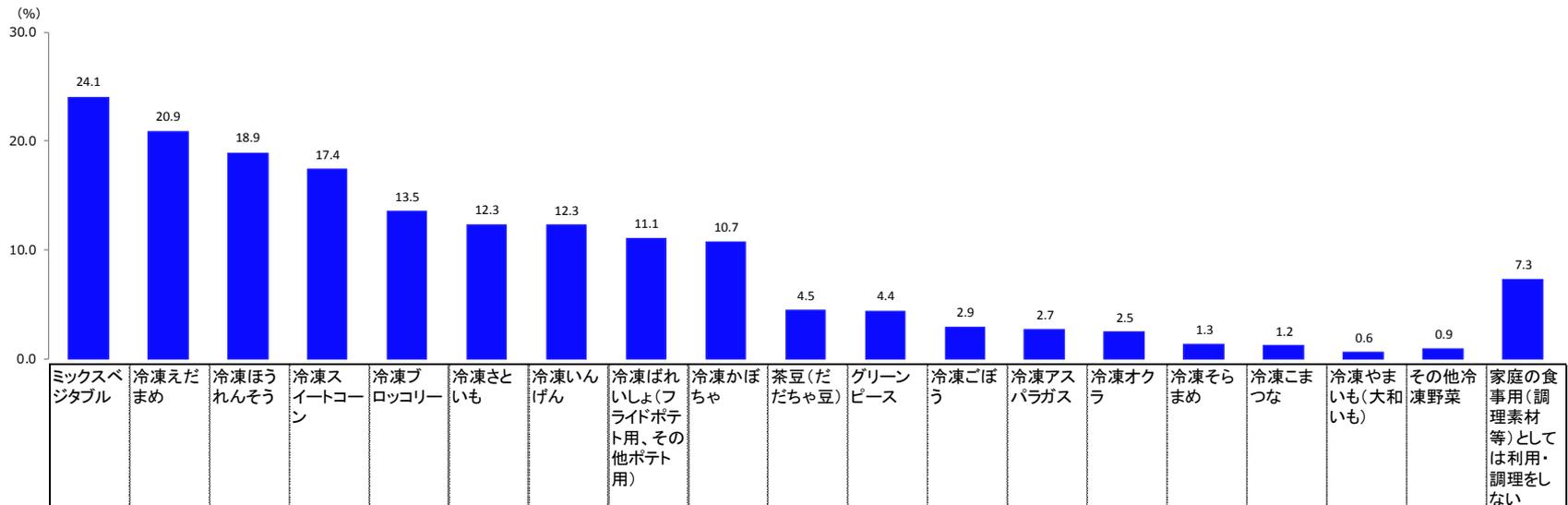


(n=1425)

■【家庭の食事用】として利用されている『冷凍野菜』は、「ミックスベジタブル」が24.1%で最も高く、次いで「冷凍えだまめ」が20.9%、「冷凍ほうれんそう」が18.9%、「冷凍スイートコーン」が17.4%、「冷凍ブロッコリー」が13.5%、「冷凍さといも」、「冷凍いんげん」が12.3%となっている。

Q12 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主に家庭の食事用（調理素材等）として利用・調理しているものをお答えください。（いくつでも）

利用品目【家庭の食事用】＜冷凍野菜＞

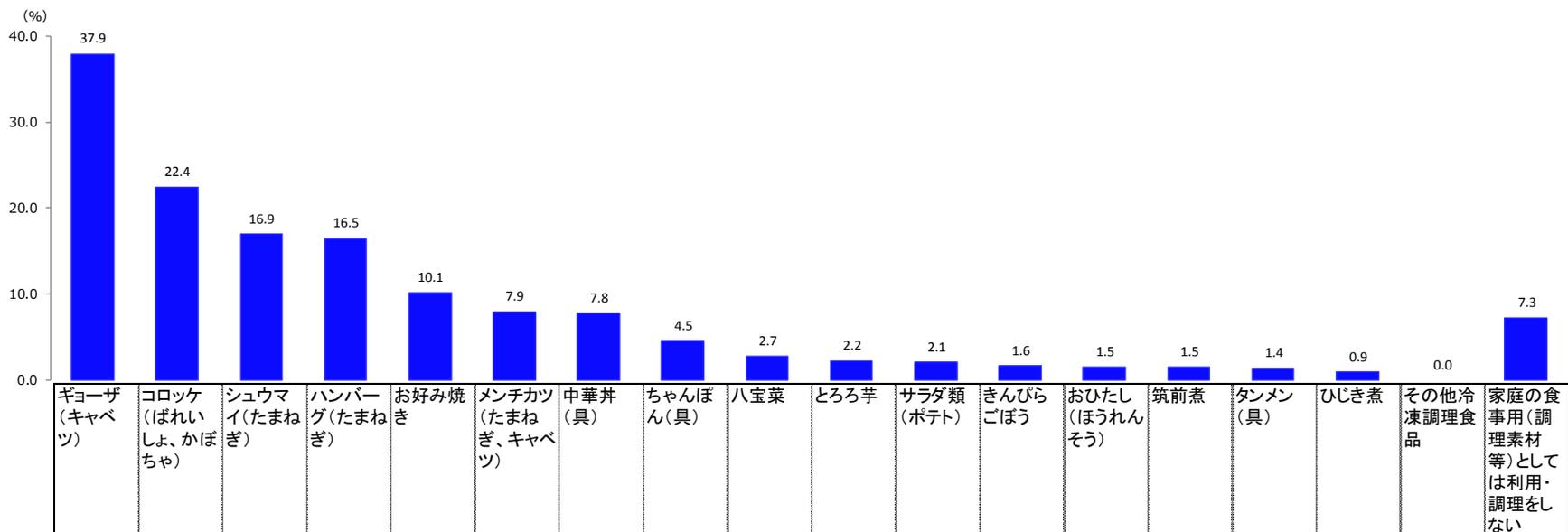


(n=1500)

■【家庭の食事用】として利用されている『冷凍調理食品』は、「ギョーザ(キャベツ)」が37.9%で最も高く、次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が22.4%、「シュウマイ(たまねぎ)」が16.9%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が16.5%となっており、スーパーマーケット・生協等で購入されている商品とほぼ同様の順位となった。

Q12 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主に家庭の食事用(調理素材等)として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【家庭の食事用】＜冷凍調理食品＞

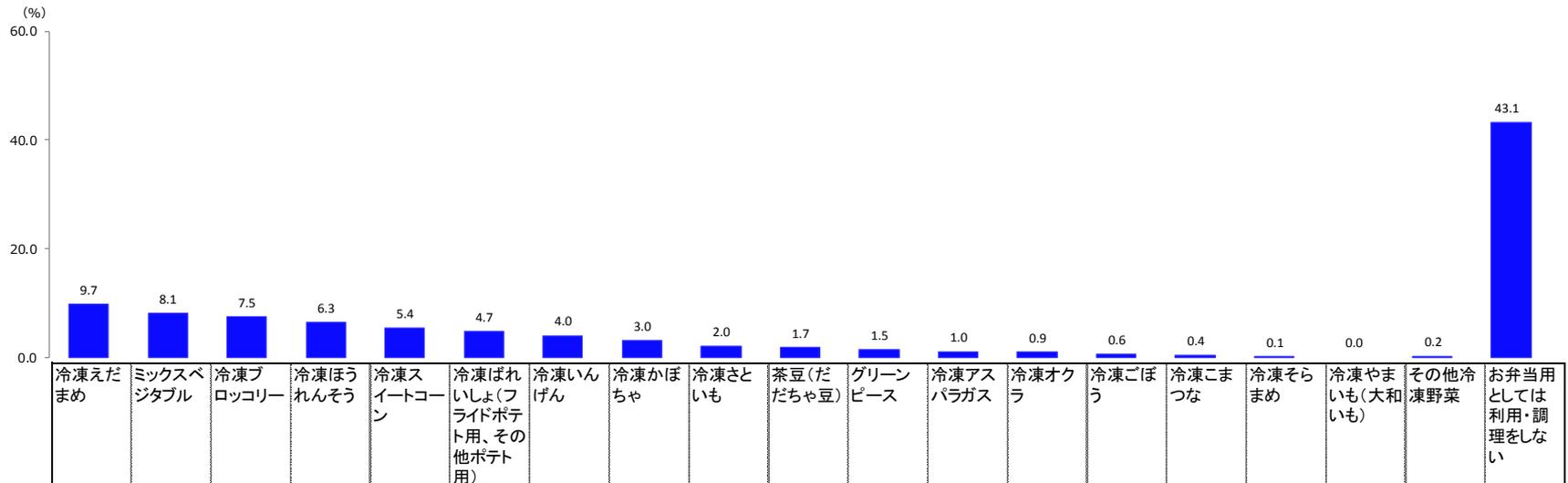


(n=1500)

- 【弁当用】として利用されている『冷凍野菜』は、「冷凍えだまめ」が9.7%で最も高く、次いで「ミックスベジタブル」が8.1%、「冷凍ブロッコリー」が7.5%となっており、どの品目も10%にも満たない。
- 「お弁当用としては利用・調理をしない」が43.1%となっており、【弁当用】として利用されていない割合が高くなっている。

Q13 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主にお弁当用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【弁当用】＜冷凍野菜＞



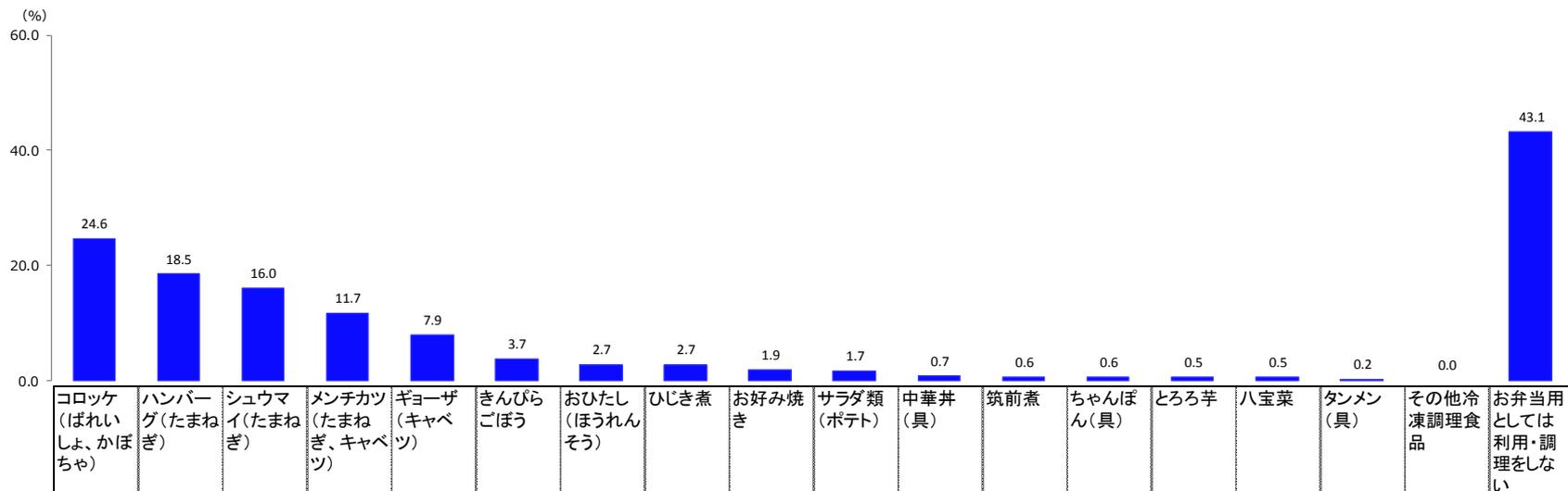
(n=1500)

■【弁当用】として利用されている『冷凍調理食品』は、「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が24.6%で最も高く、次いで「ハンバーグ(たまねぎ)」が18.5%、「シューマイ(たまねぎ)」が16.0%、「メンチカツ(たまねぎ、キャベツ)」が11.7%となっており、他の商品は10%にも満たない。

■「お弁当用としては利用・調理をしない」が43.1%となっており、【弁当用】として利用されていない割合が高くなっている。

Q13 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主にお弁当用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【弁当用】＜冷凍調理食品＞

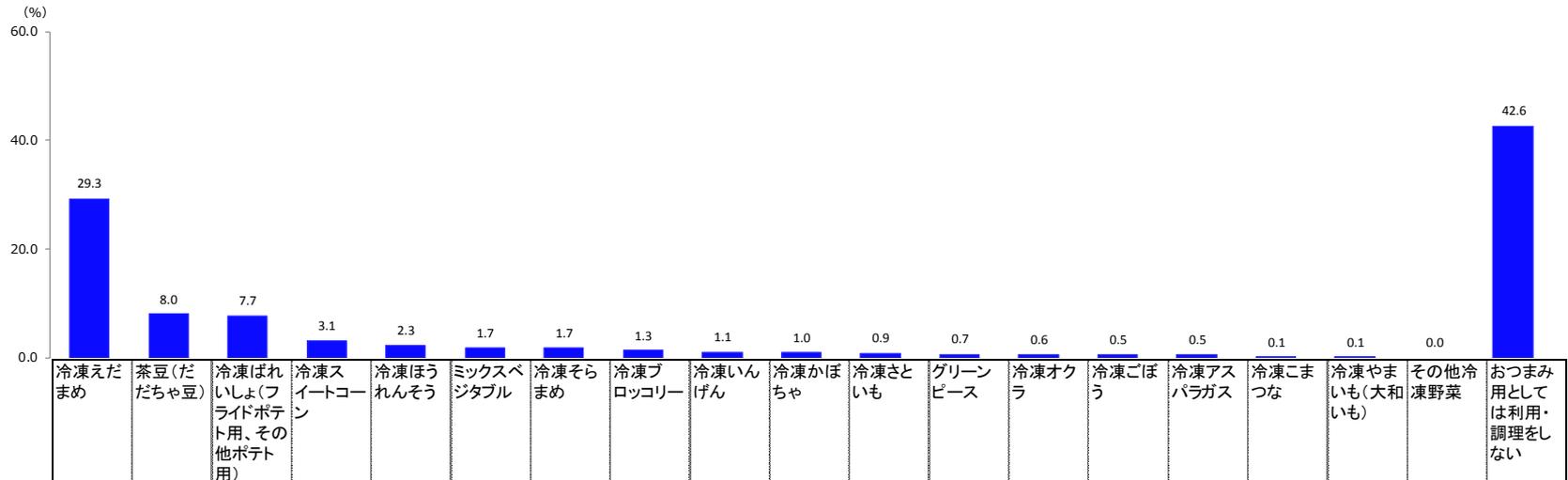


(n=1500)

- 【おつまみ用】として利用されている『冷凍野菜』は、「冷凍えだまめ」が29.3%で最も高く、他の品目は10%にも満たない。
- 「おつまみ用としては利用・調理をしない」は42.6%となっている。【おつまみ用】として利用されていない割合が高くなっている。

Q14 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主におつまみ用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【おつまみ用】＜冷凍野菜＞

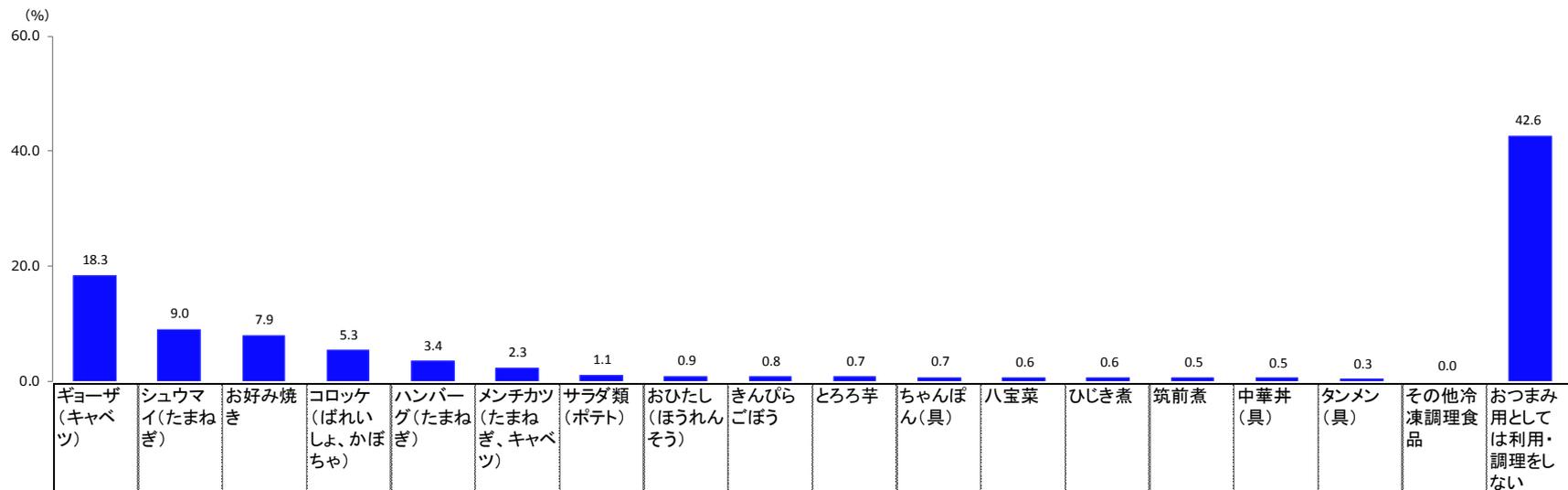


(n=1500)

- 【おつまみ用】として利用されている『冷凍調理食品』は、「ギョーザ(キャベツ)」が18.3%で最も高く、他の品目は10%にも満たない。
- 「おつまみ用としては利用・調理をしない」は42.6%となっている。【おつまみ用】として利用されていない割合が高くなっている。

Q14 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主におつまみ用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【おつまみ用】＜冷凍調理食品＞

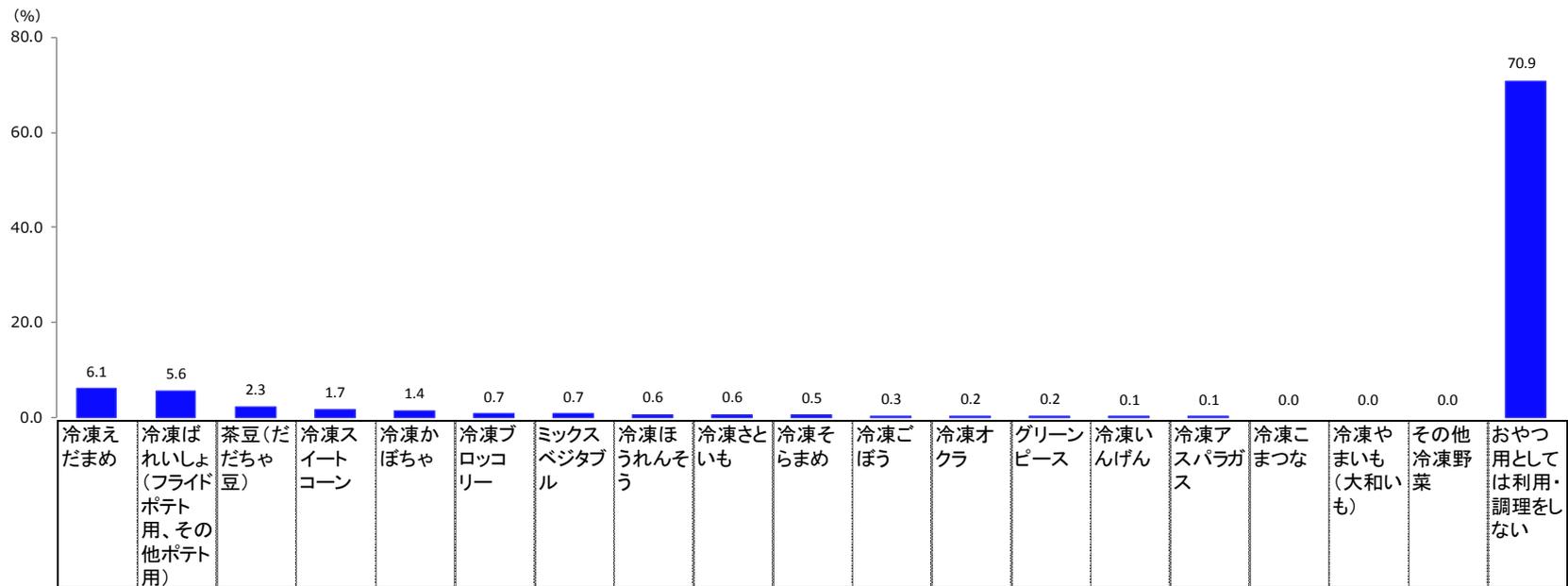


(n=1500)

■ 【おやつ用】として利用されている『冷凍野菜』は、「冷凍えだまめ」が6.1%、「冷凍ばれいしょ(フライドポテト用他)」が5.6%と全品目が10%に満たない。70%以上が「おやつ用としては利用・調理をしない」となっており、【おやつ用】としての需要はほとんどないと考えられる。

Q15 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主におやつ用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【おやつ用】＜冷凍野菜＞



(n=1500)

- 【おやつ用】として利用されている『冷凍調理食品』は、「お好み焼き」が9.8%で最も高い。次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が4.1%、「ギョーザ(キャベツ)」が3.1%と全品目が10%に満たない。70%以上が「おやつ用としては利用・調理をしない」となっており、【おやつ用】としての需要はほとんどないと考えられる。

Q15 あなたが、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主におやつ用として利用・調理しているものをお答えください。(いくつでも)

利用品目【おやつ用】＜冷凍調理食品＞

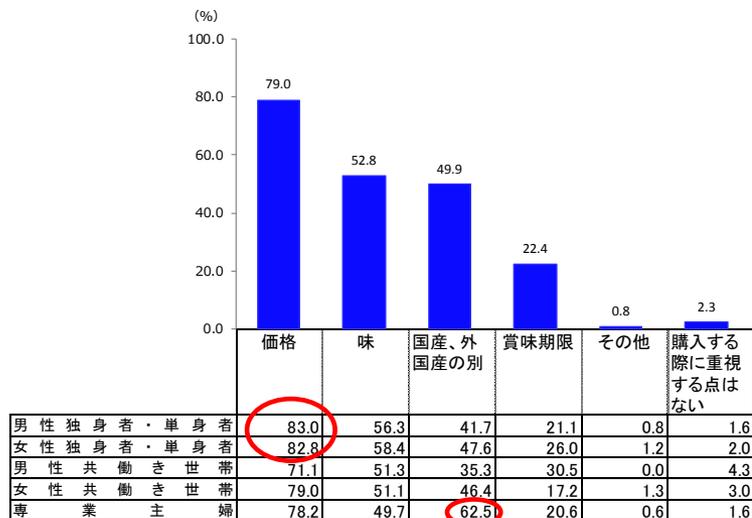


(n=1500)

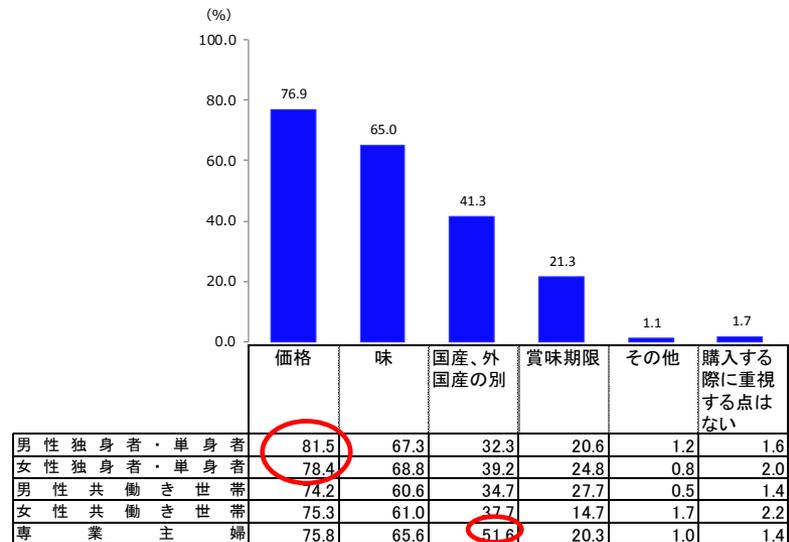
- 購入時の重視する点は、『冷凍野菜』、『冷凍調理食品』ともに、「価格」、「味」、「国産、外国産の別」、「賞味期限」の順となっている。
- 『冷凍野菜』は、『冷凍調理食品』に比べて「国産、外国産の別」を重視する割合が高く、『冷凍調理食品』は、『冷凍野菜』に比べ「味」を重視する割合が高くなっている。また、『冷凍野菜』、『冷凍調理食品』ともに「価格」を重視するのは男女の『独身者・単身者』が高く、「国産、外国産の別」を重視するのは『専業主婦』が高くなっている。

Q16 あなたが「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に重視する点をお答えください。(それぞれいくつでも)

購入時の重視点<冷凍野菜>



購入時の重視点<冷凍調理食品>



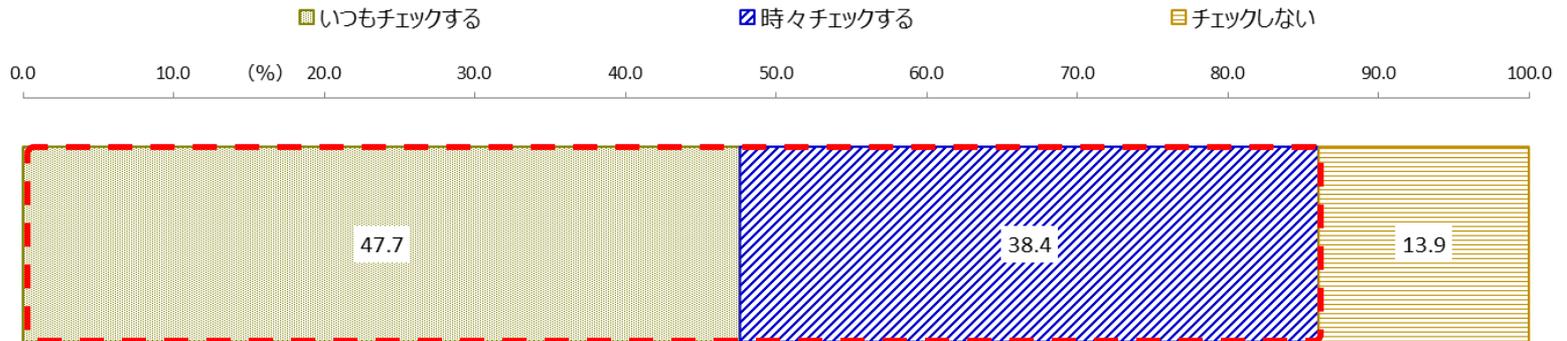
(n=1408)

(n=1425)

■ 原産国表示のチェック有無については、「いつもチェックする」が47.7%と最も高く、「時々チェックする」が38.4%、両方を合わせると約90%となり、原産国についてチェックを行う割合は高くなっている。

Q17 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に原産国表示をチェックしますか。(1つだけ)

原産国表示のチェック有無

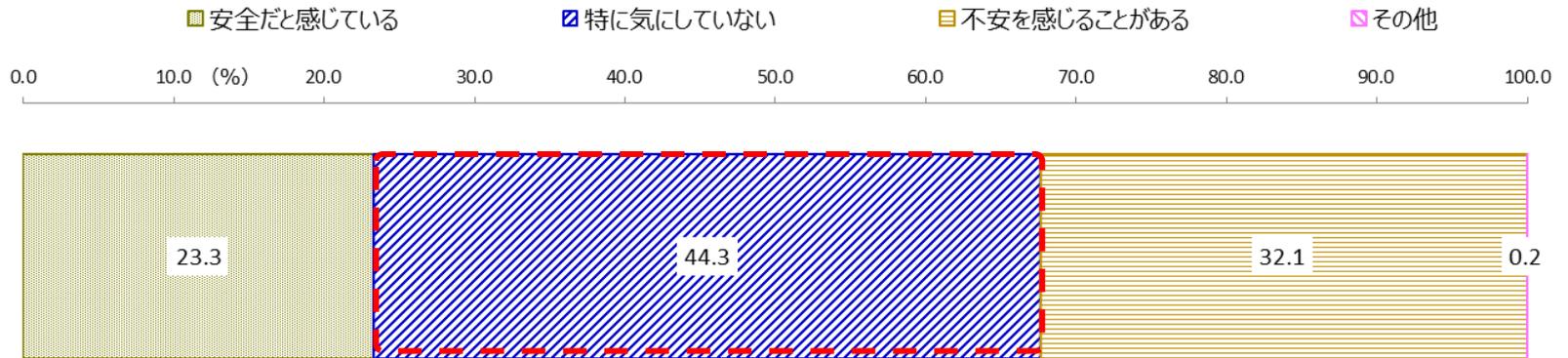


(n=1500)

■ 安全性に対するイメージについては、「特に気にしていない」が44.3%で最も高くなっている。一方、「不安を感じることもある」も32.1%と30%を超えやや高くなっている。

Q18 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」の安全性に対するイメージで当てはまるものをお選びください。(1つだけ)

安全性に対するイメージ



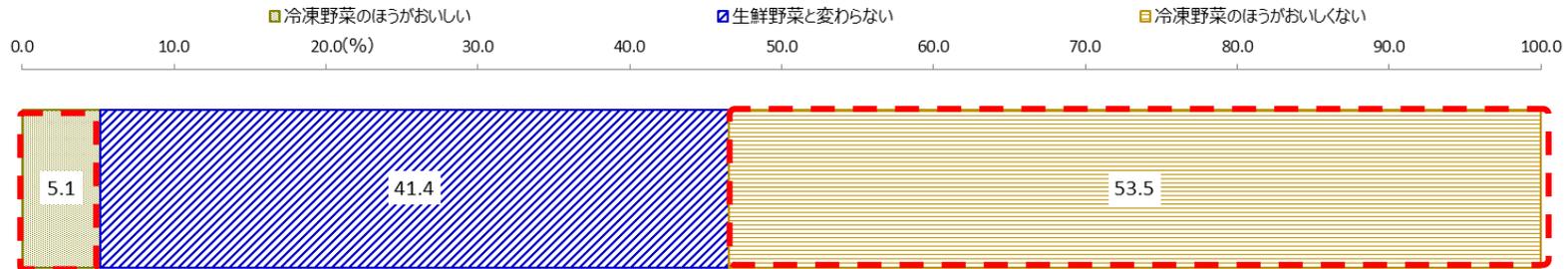
(n=1500)

- 『冷凍野菜』の味に対するイメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、「冷凍野菜のほうがおいしくない」の割合が53.5%で最も高く、「生鮮野菜と変わらない」が41.4%となっている。
- 『冷凍調理食品』の味に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、「自分で作るものと変わらない」が41.1%で最も高く、「冷凍調理食品のほうがおいしくない」が34.6%、「冷凍調理食品のほうがおいしい」が24.3%となっている。『冷凍野菜』に比べ「おいしい」と感じている割合が高くなっている。

Q19 「冷凍野菜」の味に対するイメージを、生鮮野菜と比較してお答えください。(1つだけ)

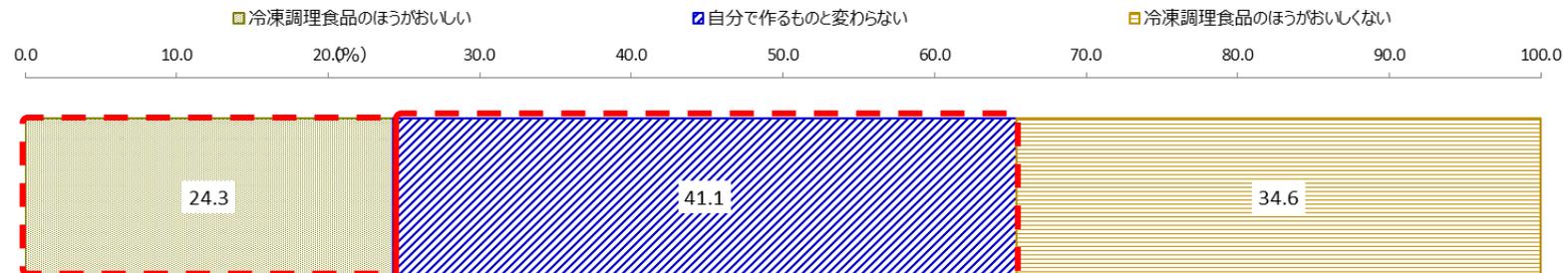
Q20 「冷凍調理食品」の味に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)

味イメージの比較<冷凍野菜⇔生鮮野菜>



(n=1500)

味イメージの比較<冷凍調理食品⇔生鮮野菜調理品>



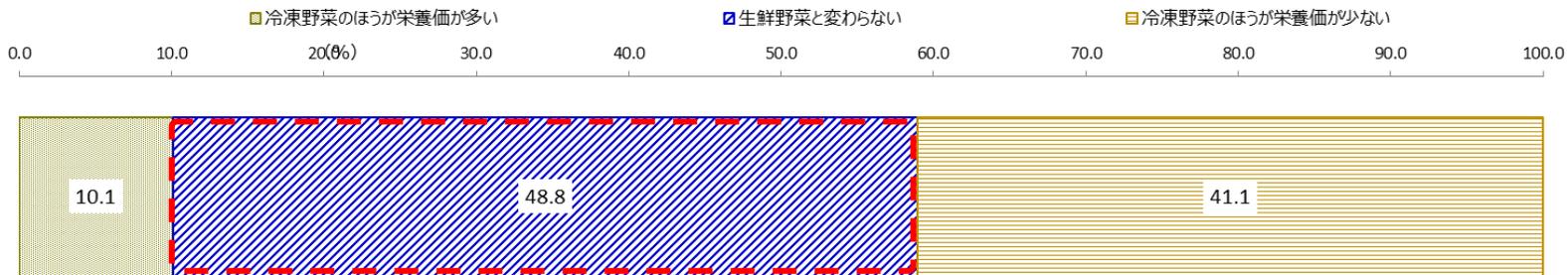
(n=1500)

- 『冷凍野菜』の栄養価に対するイメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、「生鮮野菜と変わらない」の割合が48.8%で最も高く、「冷凍野菜のほうが栄養価が少ない」が41.1%となっている。
- 『冷凍調理食品』の栄養価に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、「自分で作るものと変わらない」が49.7%で最も高く、「冷凍調理食品のほうが栄養価が少ない」が37.1%となっている。

Q21 「冷凍野菜」の栄養価に対するイメージを、生鮮野菜と比較してお答えください。(1つだけ)

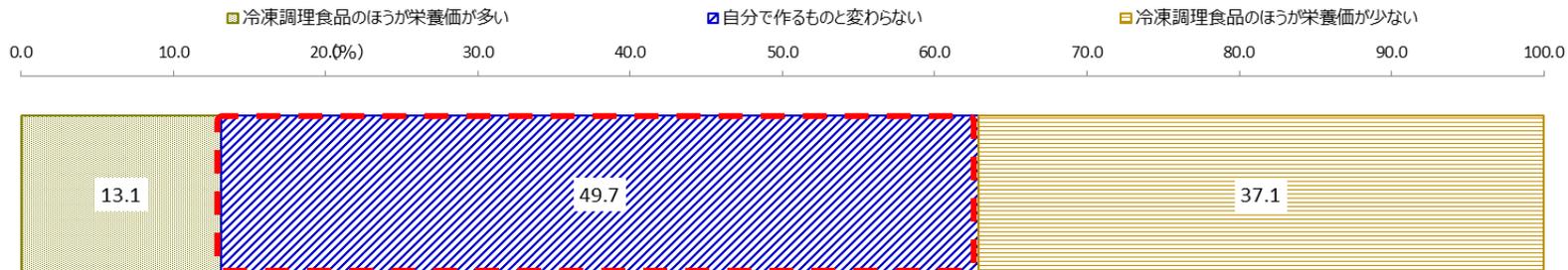
Q22 「冷凍調理食品」の栄養価に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)

栄養価イメージの比較<冷凍野菜⇔生鮮野菜>



(n=1500)

栄養価イメージの比較<冷凍調理食品⇔生鮮野菜調理品>



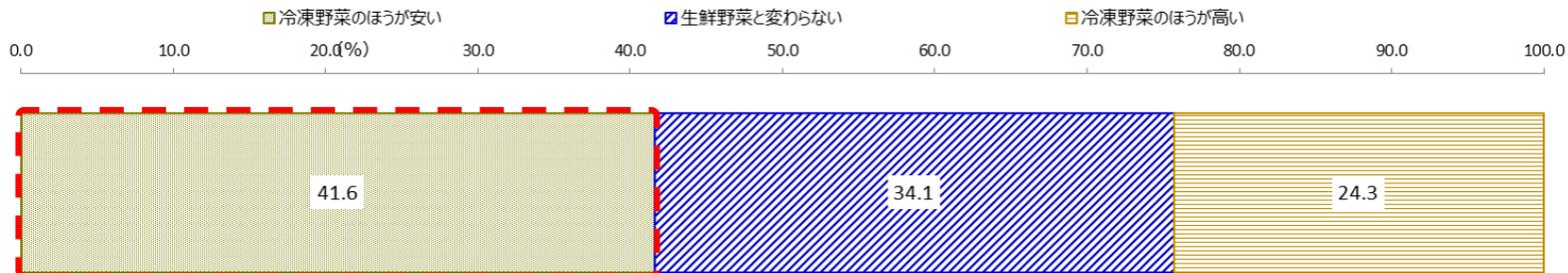
(n=1500)

- 『冷凍野菜』の価格に対するイメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、「冷凍野菜のほうが安い」の割合が41.6%で最も高く、「生鮮野菜と変わらない」が34.1%となっている。
- 『冷凍調理食品』の価格に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、「冷凍調理食品のほうが安い」が40.9%で最も高く、「自分で作るものと変わらない」、「冷凍調理食品のほうが高い」がいずれも約30%となっている。

Q23 「冷凍野菜」の価格に対するイメージを、生鮮食品と比較してお答えください。(1つだけ)

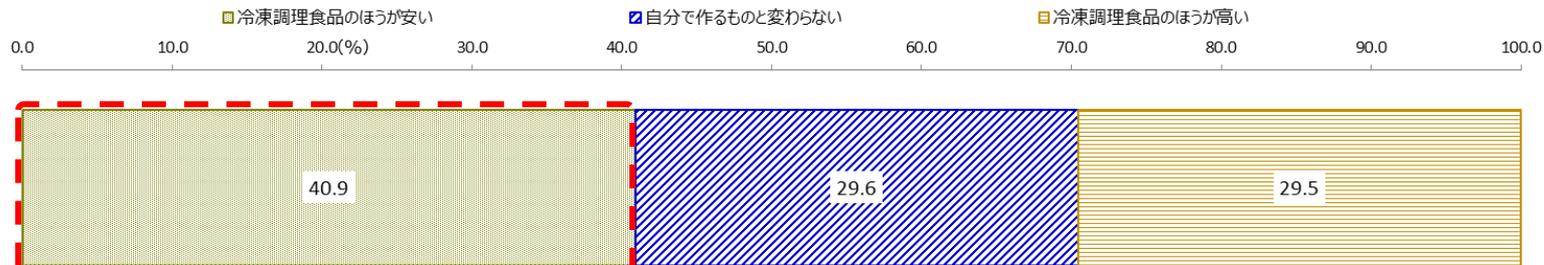
Q24 「冷凍調理食品」の価格に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)

価格イメージの比較<冷凍野菜⇔生鮮野菜>



(n=1500)

価格イメージの比較<冷凍調理食品⇔生鮮野菜調理品>

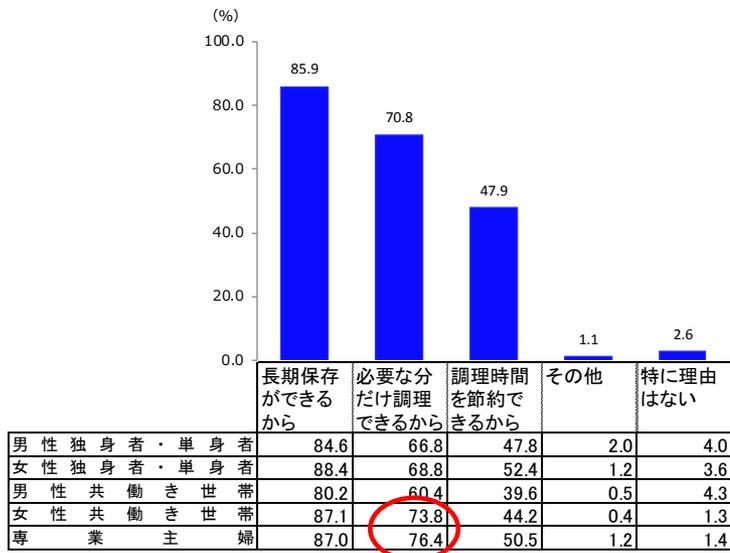


(n=1500)

- 『冷凍野菜』、『冷凍調理食品』を利用する理由については、「長期保存ができるから」がどちらも最も高く70%を超えており、どの属性区分でも高い割合となっている。
- 『冷凍野菜』で2番目に高い「必要な分だけ調理できるから」は、『女性共働き世帯』、『専業主婦』の割合が70%を超えており、調理素材として必要な量を購入できることが重視されていると考えられる。
- 『冷凍調理食品』で2番目に高い「調理時間を節約できるから」は、女性の割合が60%を超えており、調理済みの商品を解凍してすぐ食べられることから、調理時間の短縮が重視されていると考えられる。

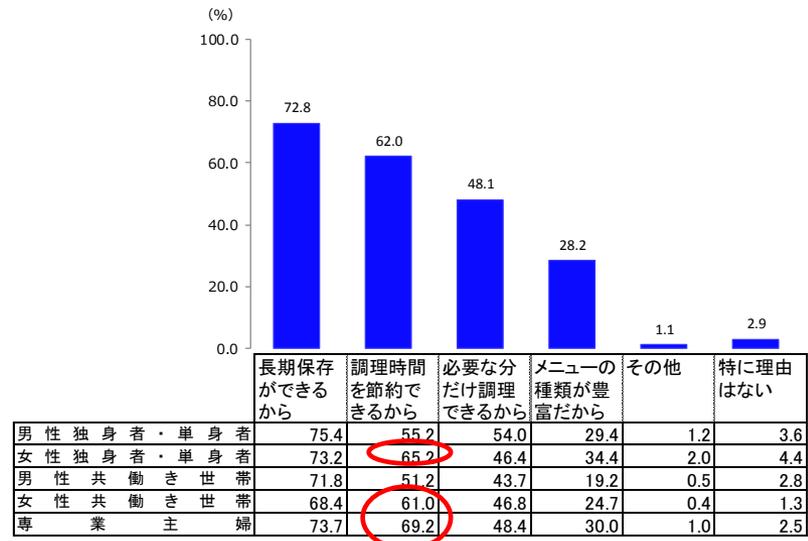
Q25 あなたが「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を利用・調理する理由をお答えください。(それぞれいくつでも)

利用理由<冷凍野菜>



(n=1408)

利用理由<冷凍調理食品>

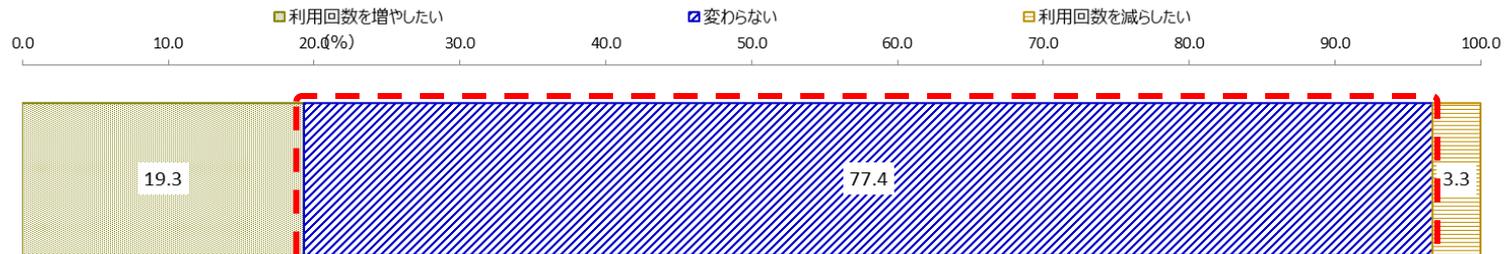


(n=1425)

- 今後の利用回数の増減意向については、『冷凍野菜』、『冷凍調理食品』ともに「変わらない」が70%以上を占め最も高くなっている。

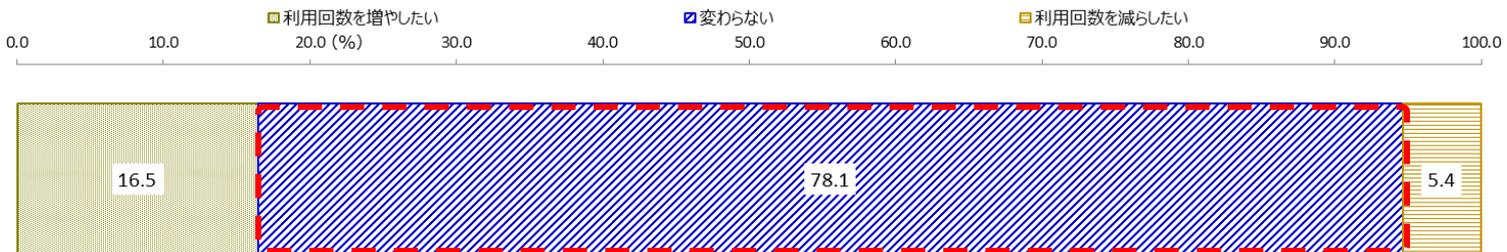
Q26 あなたは今後、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を利用する頻度に当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)

今後の利用回数の増減意向<冷凍野菜>



(n=1500)

今後の利用回数の増減意向<冷凍調理食品>

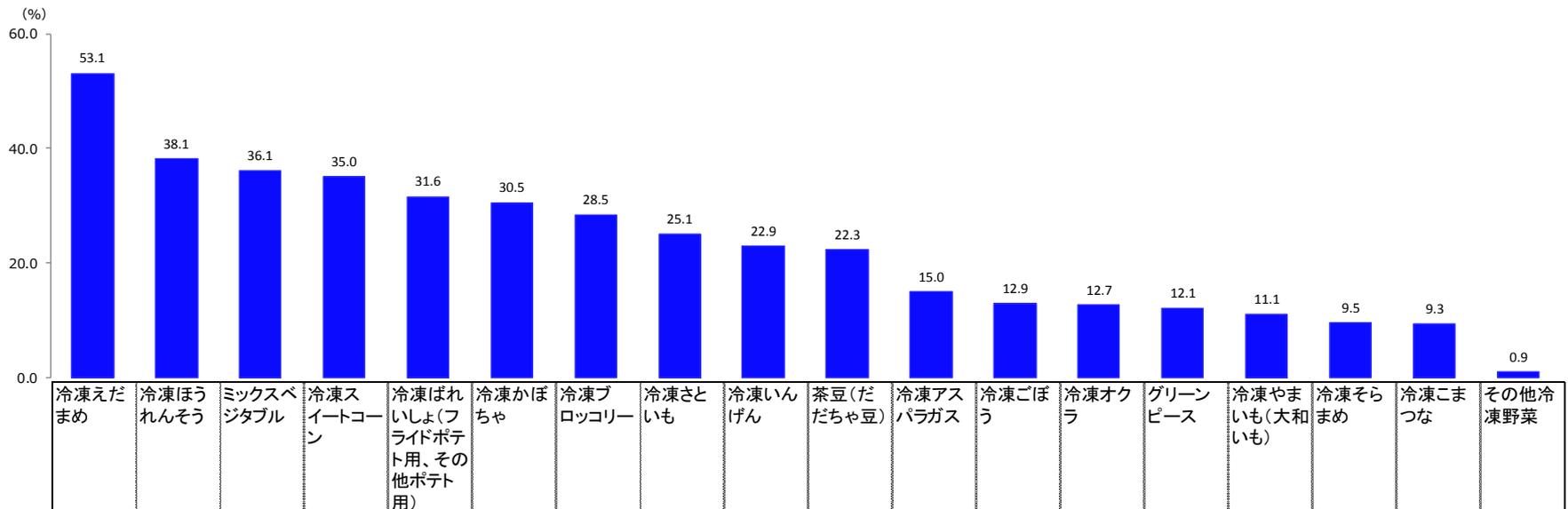


(n=1500)

■ 今後購入したい品目について、『冷凍野菜』では、「冷凍えだまめ」が53.1%と半数を超え、次いで「冷凍ほうれんそう」が38.1%、「ミックスベジタブル」が36.1%、「冷凍スイートコーン」が35.0%、「冷凍ばれいしょ(フライドポテト用他)」が31.6%、「冷凍かぼちゃ」が30.5%となっている。

Q27 あなたが今後購入したい「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をお選びください。(いくつでも)

今後購入意向品目＜冷凍野菜＞

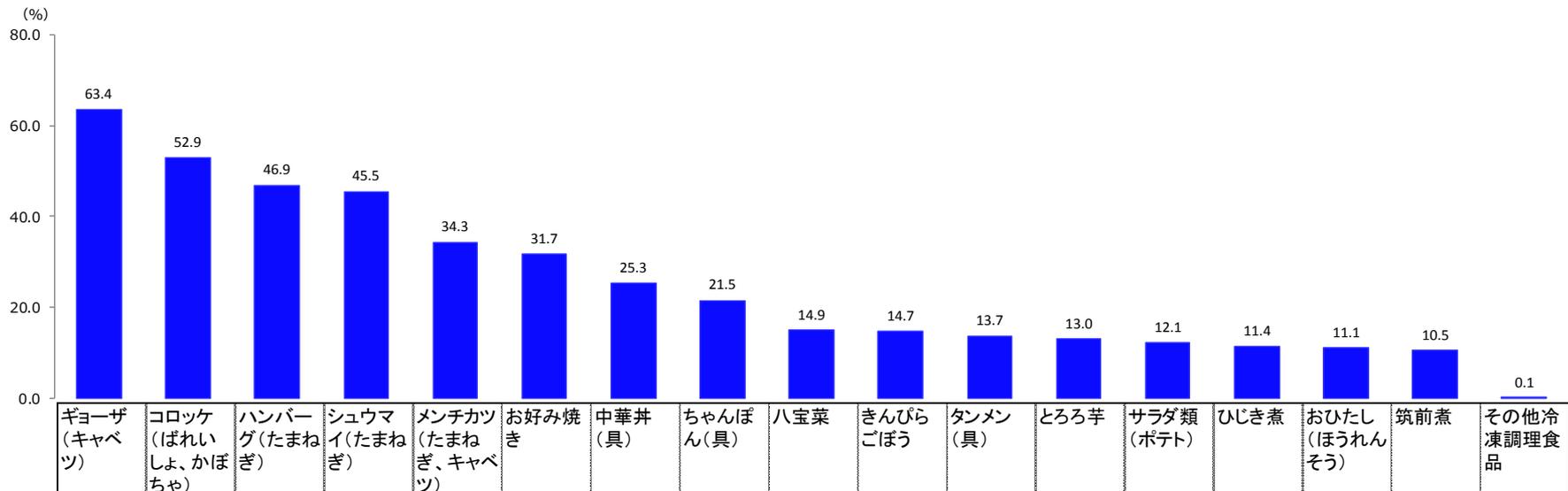


(n=1500)

■ 今後購入したい品目について、『冷凍調理食品』では、「ギョーザ(キャベツ)」が63.4%で最も高く、次いで「コロッケ(ばれいしょ、かぼちゃ)」が52.9%、「ハンバーグ(たまねぎ)」が46.9%、「シュウマイ(たまねぎ)」が45.5%、「メンチカツ(たまねぎ、キャベツ)」が34.3%、「お好み焼き」が31.7%となっており、『冷凍野菜』より割合は高くなっている。

Q27 あなたが今後購入したい「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をお選びください。(いくつでも)

今後購入意向品目＜冷凍調理食品＞

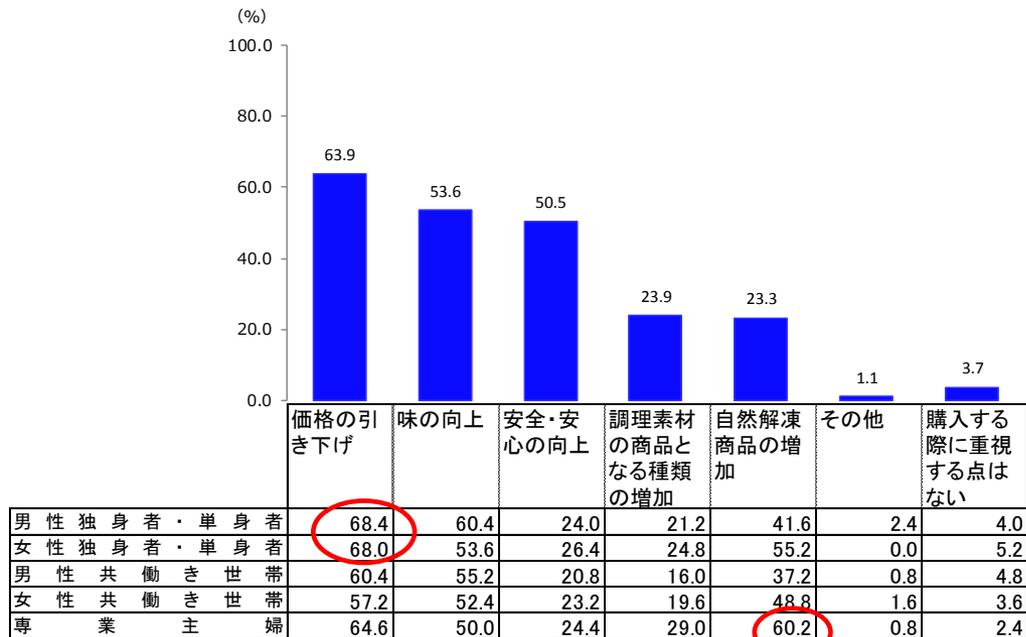


(n=1500)

- 国産の『冷凍野菜』、『冷凍調理食品』を購入する際に重視する点としては、男女の『独身者・単身者』を中心に「価格の引き下げ」が63.9%で最も高く、次いで「味の向上」、「安全・安心の向上」が50%を超え高くなっている。
- 次いで「調理素材の商品となる種類の増加」が23.9%、『専業主婦』の割合が高い「自然解凍商品の増加」が23.3%となっている。

Q28 今後、国産の「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に重視するものは何ですか。(いくつでも)

国産品購入時の重視点



(n=1500)

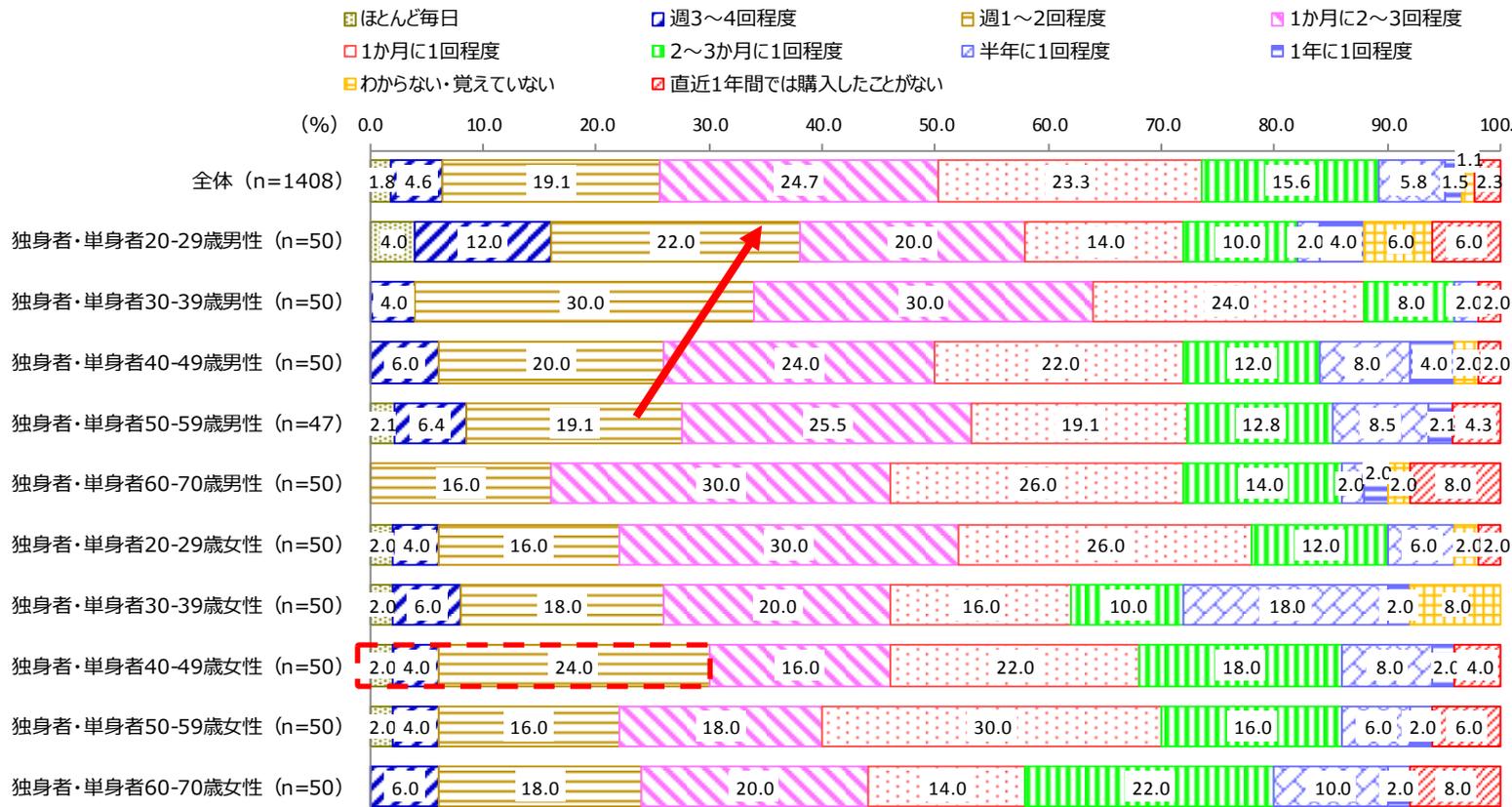
II. 性年代・属性区分別集計結果

1-1 購入頻度＜冷凍野菜＞①【独身者・単身者】

- 『冷凍野菜』の購入頻度については、性年代・属性区分別にみると、『独身者・単身者』の中では、『男性』は若い年代ほど「週1回以上（「ほとんど毎日」+「週3～4回程度」+「週1～2回程度」）」の割合が高くなっている。
- 一方、『女性』は『40-49歳』が「週1回以上」の割合が高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

購入頻度＜冷凍野菜＞①【独身者・単身者】

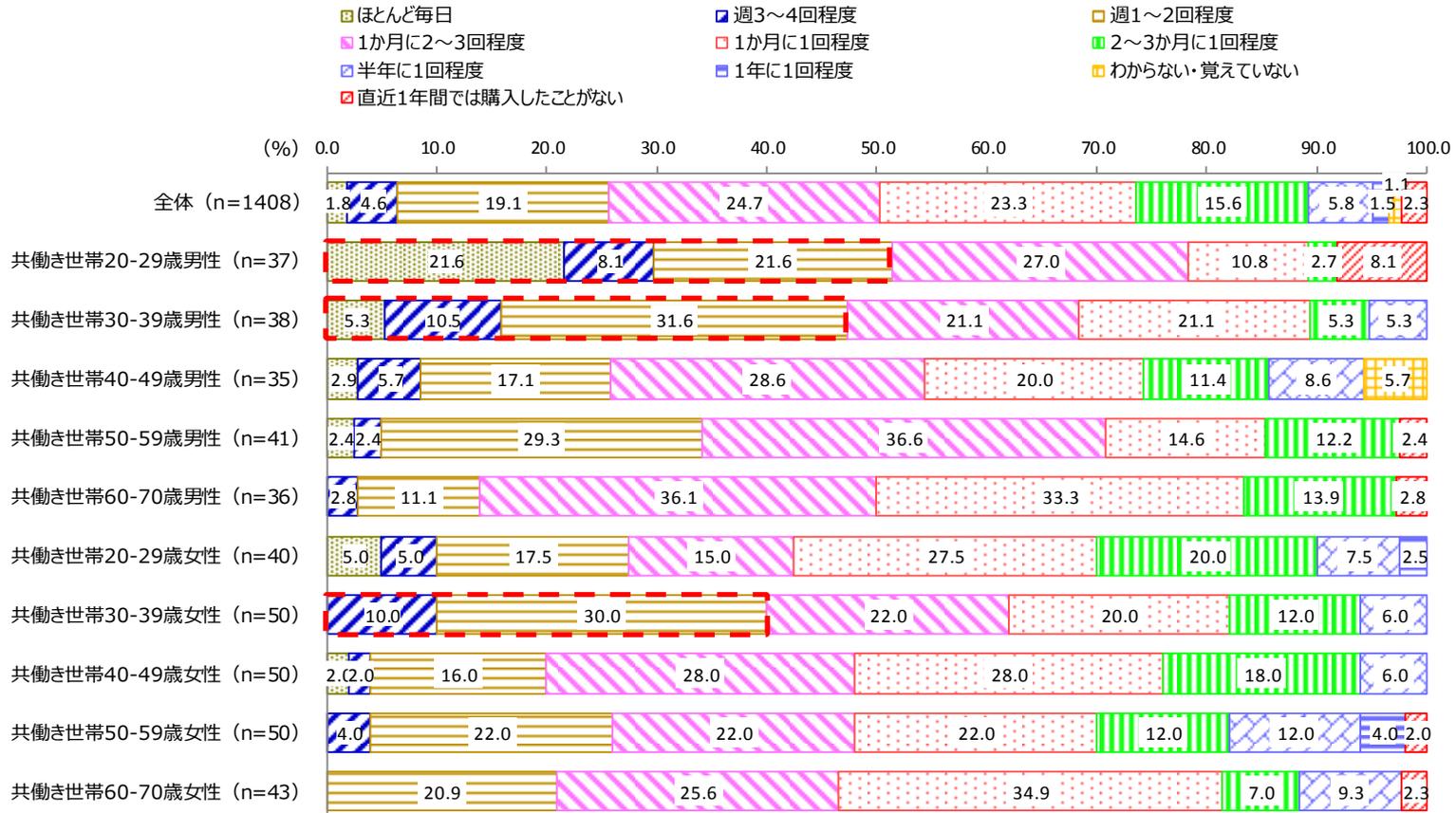


■ 『冷凍野菜』の購入頻度については、『共働き世帯』の中では、『20-29歳男性』の「ほとんど毎日」の割合が21.6%と、他の年代に比べ突出して高く、「週1回以上（「ほとんど毎日」+「週3～4回程度」+「週1～2回程度」）」で見ても、過半を占め最も高くなっている。

■ 「週1回以上」でみると、男女ともに『30-39歳』の割合が高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

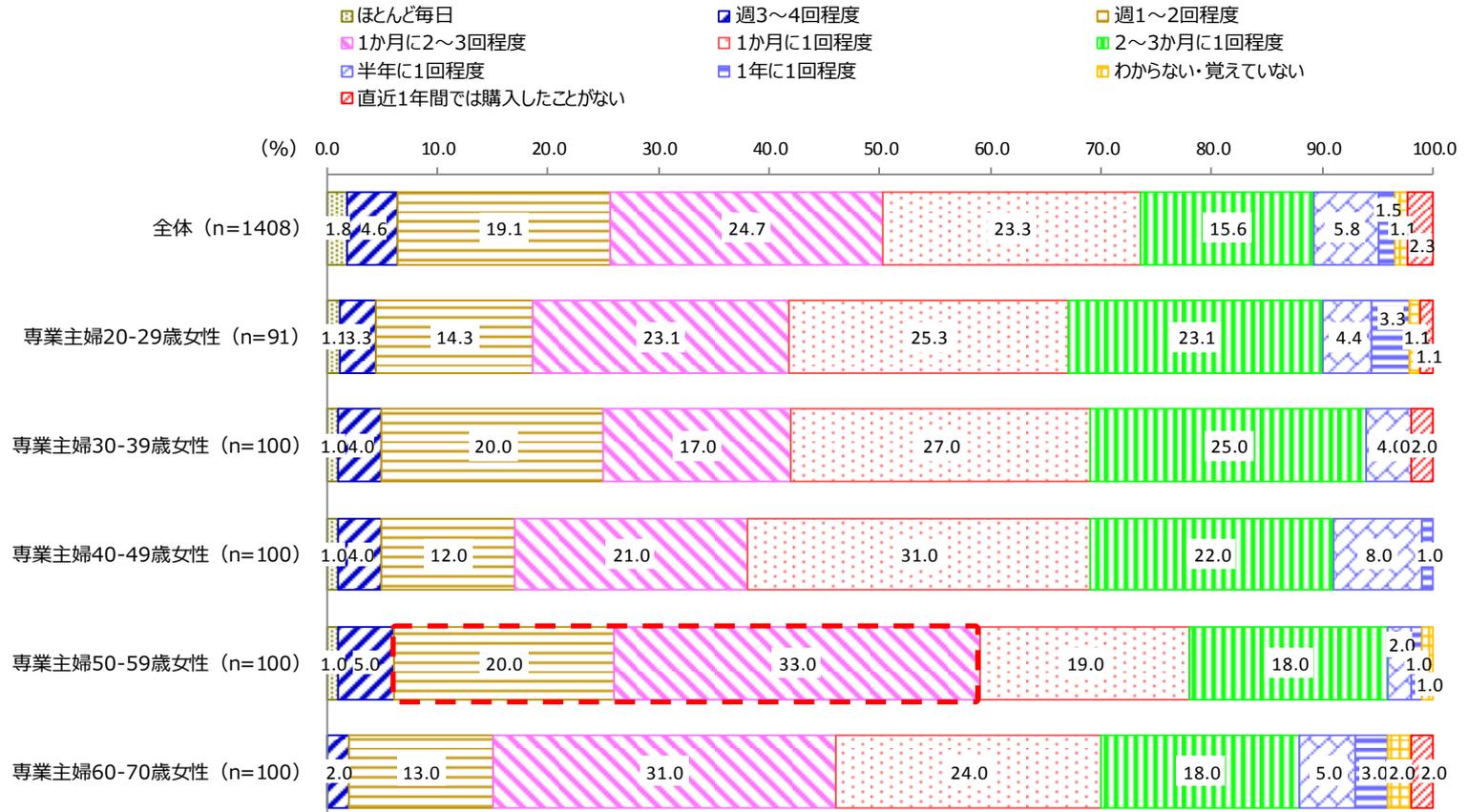
購入頻度＜冷凍野菜＞②【共働き世帯】



■ 『冷凍野菜』の購入頻度については、『専業主婦』の中では、目立った傾向の差はないものの、『50-59歳』で「週1～2回程度」+「1か月に2～3回程度」の割合が高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

購入頻度＜冷凍野菜＞③【専業主婦】

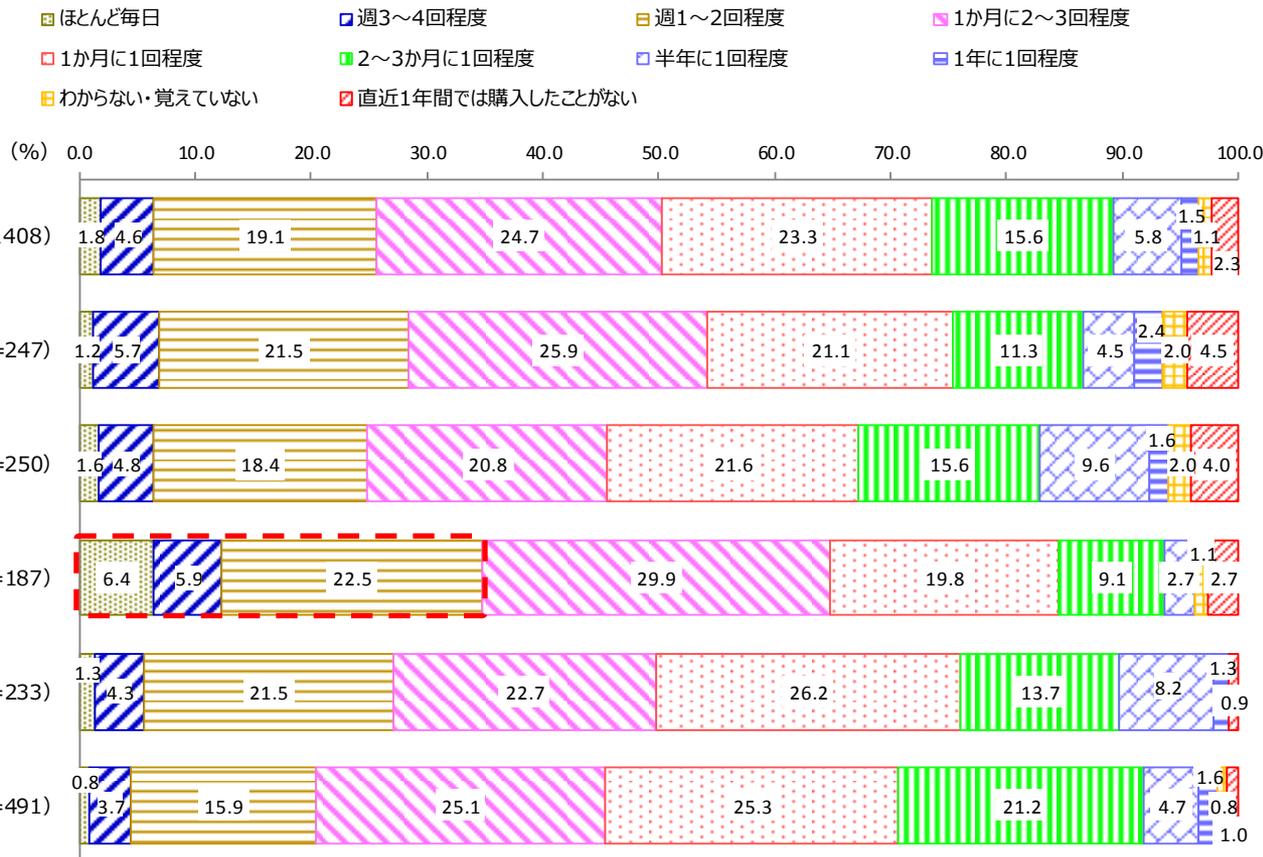


1-4 購入頻度＜冷凍野菜＞④【性別・属性区分別比較】

■ 『共働き世帯男性』の「週1回以上（「ほとんど毎日」＋「週3～4回程度」＋「週1～2回程度」）」の割合が34.8%で最も高くなっている。「ほとんど毎日」だけの割合を見ても、他の区分が2%未満なのに対し、『共働き世帯男性』は6.4%となっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

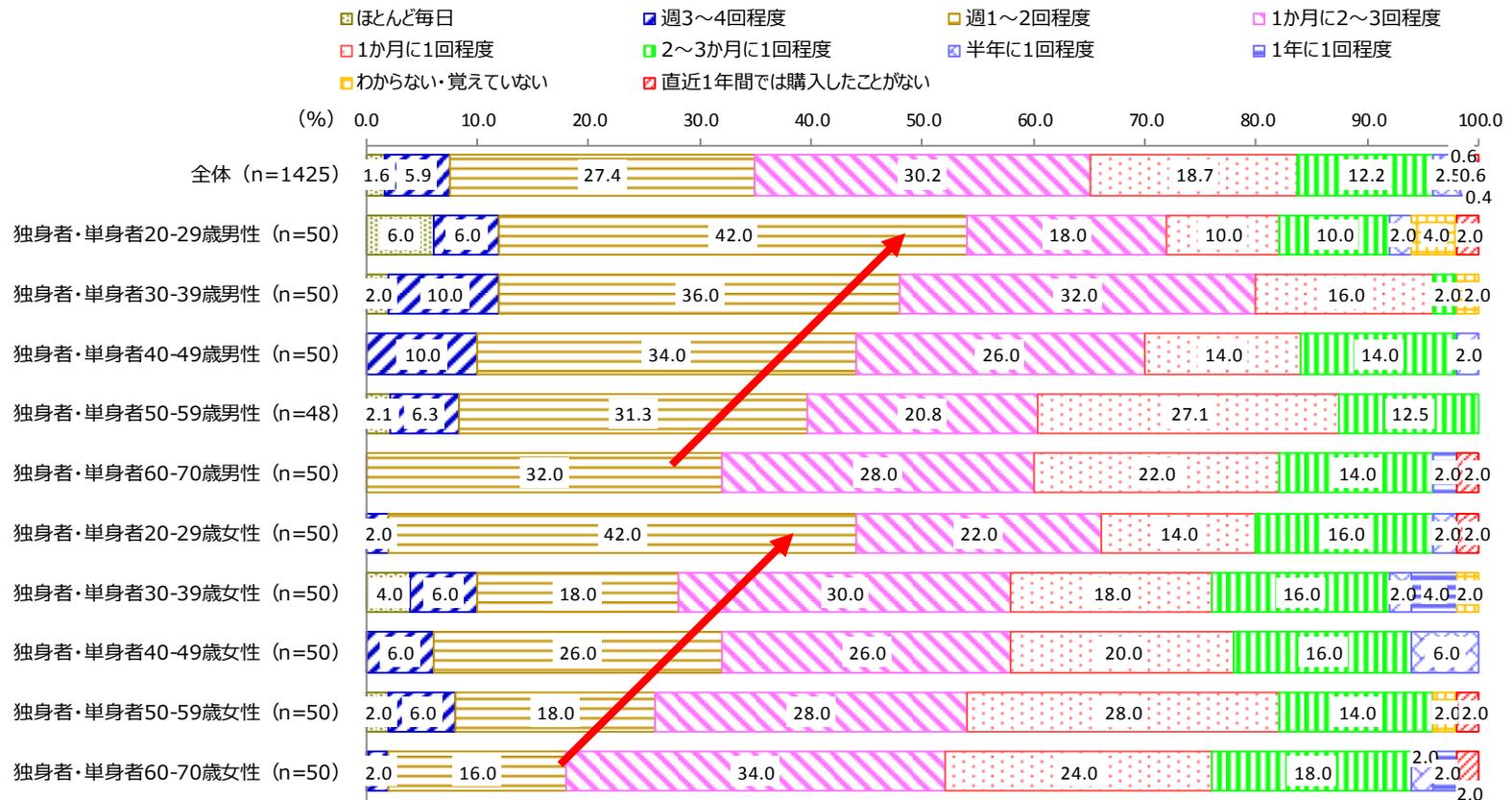
購入頻度＜冷凍野菜＞④【性別・属性区分別比較】



- 『冷凍調理食品』の購入頻度については、『独身者・単身者』の中では、男性は、若い年代ほど「週1回以上（「ほとんど毎日」+「週3～4回程度」+「週1～2回程度）」の割合が高い傾向が顕著となっている。
- 一方、女性も『30-39歳』で割合が若干低くなるものの、若い年代ほど「週1回以上」の割合が高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

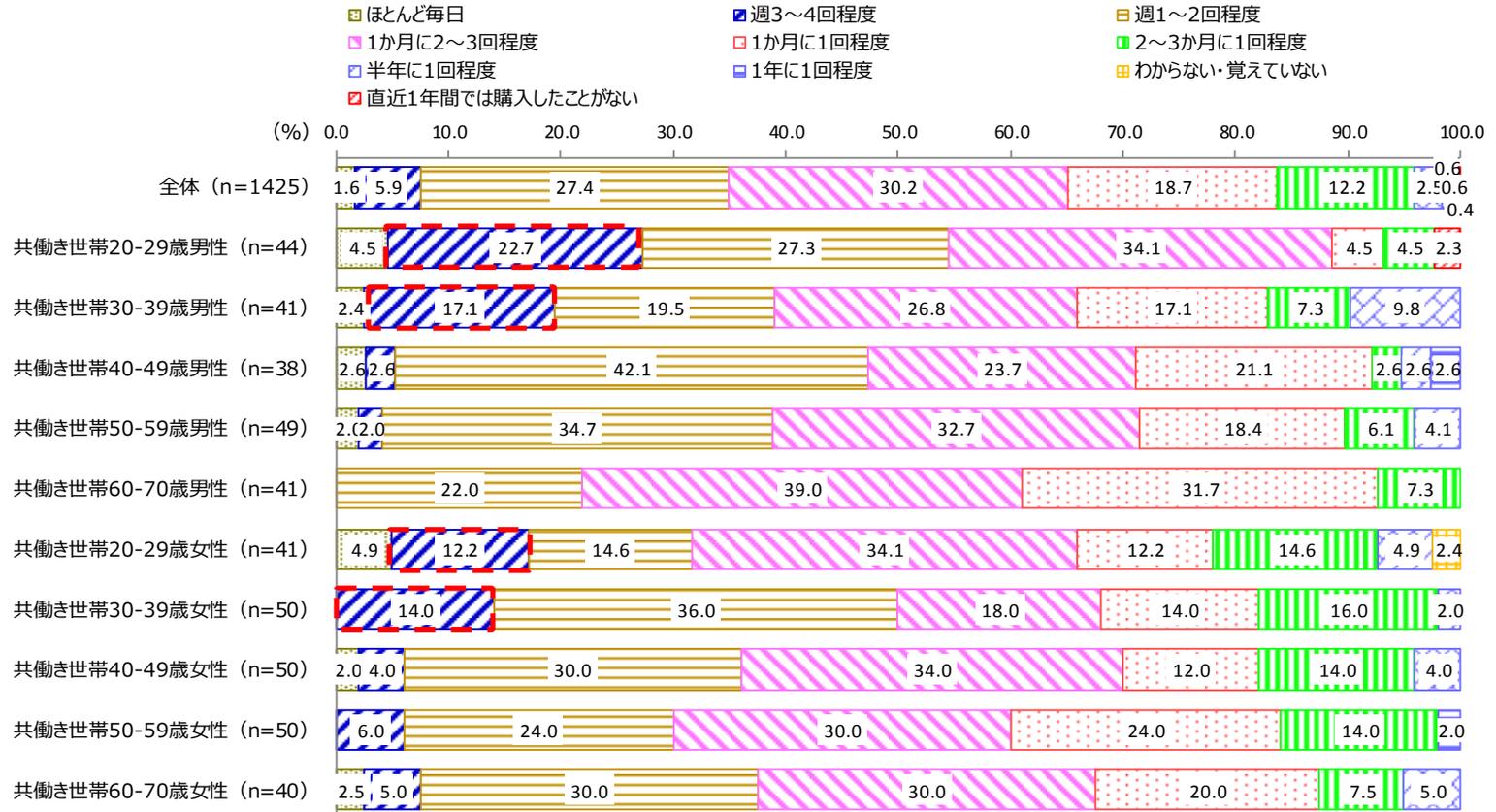
購入頻度＜冷凍調理食品＞①【独身者・単身者】



■ 『冷凍調理食品』の購入頻度については、『共働き世帯』の中では、男女ともに『20-39歳』の「週3～4回程度」の割合が高くなっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

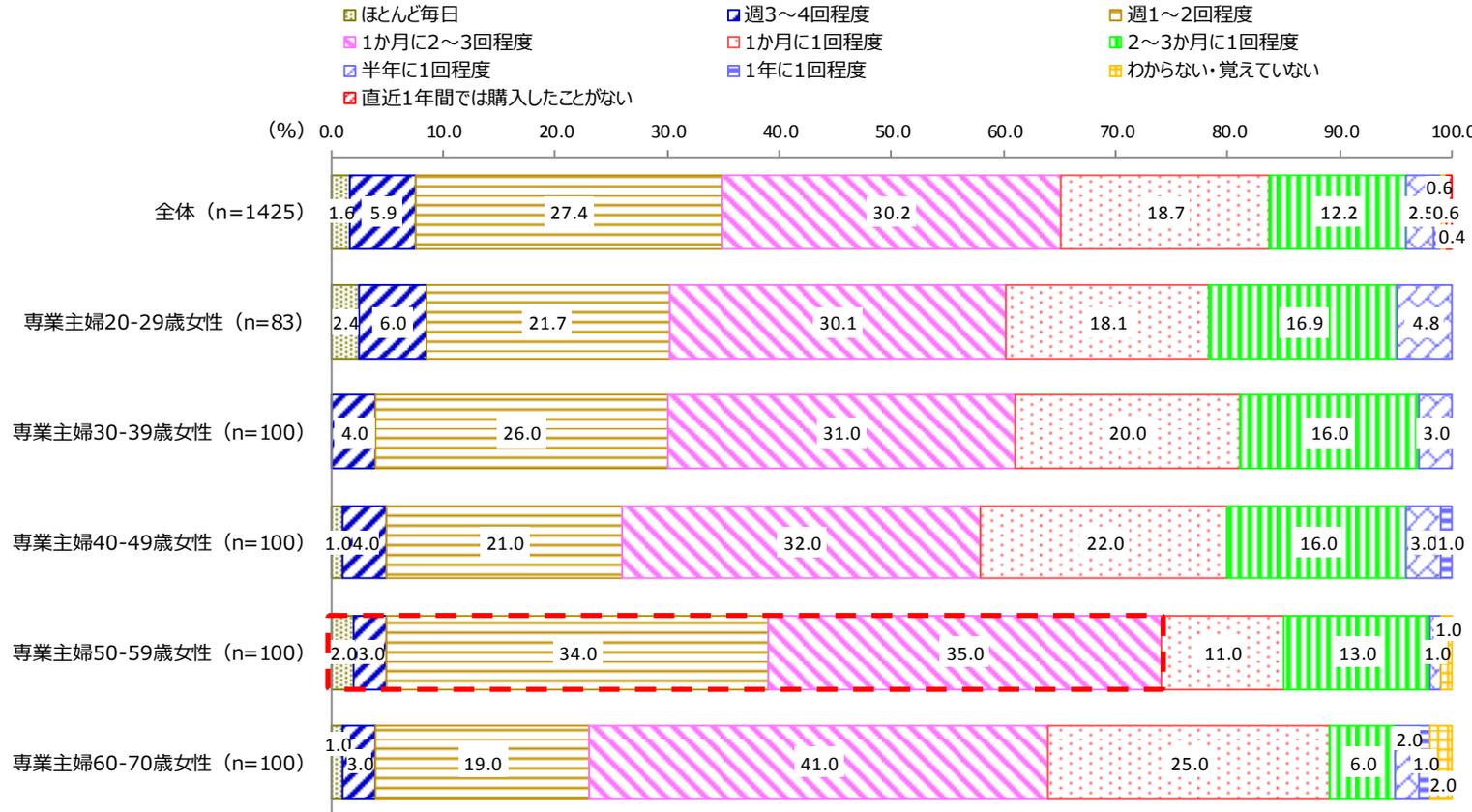
購入頻度＜冷凍調理食品＞②【共働き世帯】



■ 『冷凍調理食品』の購入頻度については、『専業主婦』の中では、『50-59歳』で頻度が高い傾向が見られる。これは『冷凍野菜』と同様の傾向となっている。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。（それぞれ1つずつ）

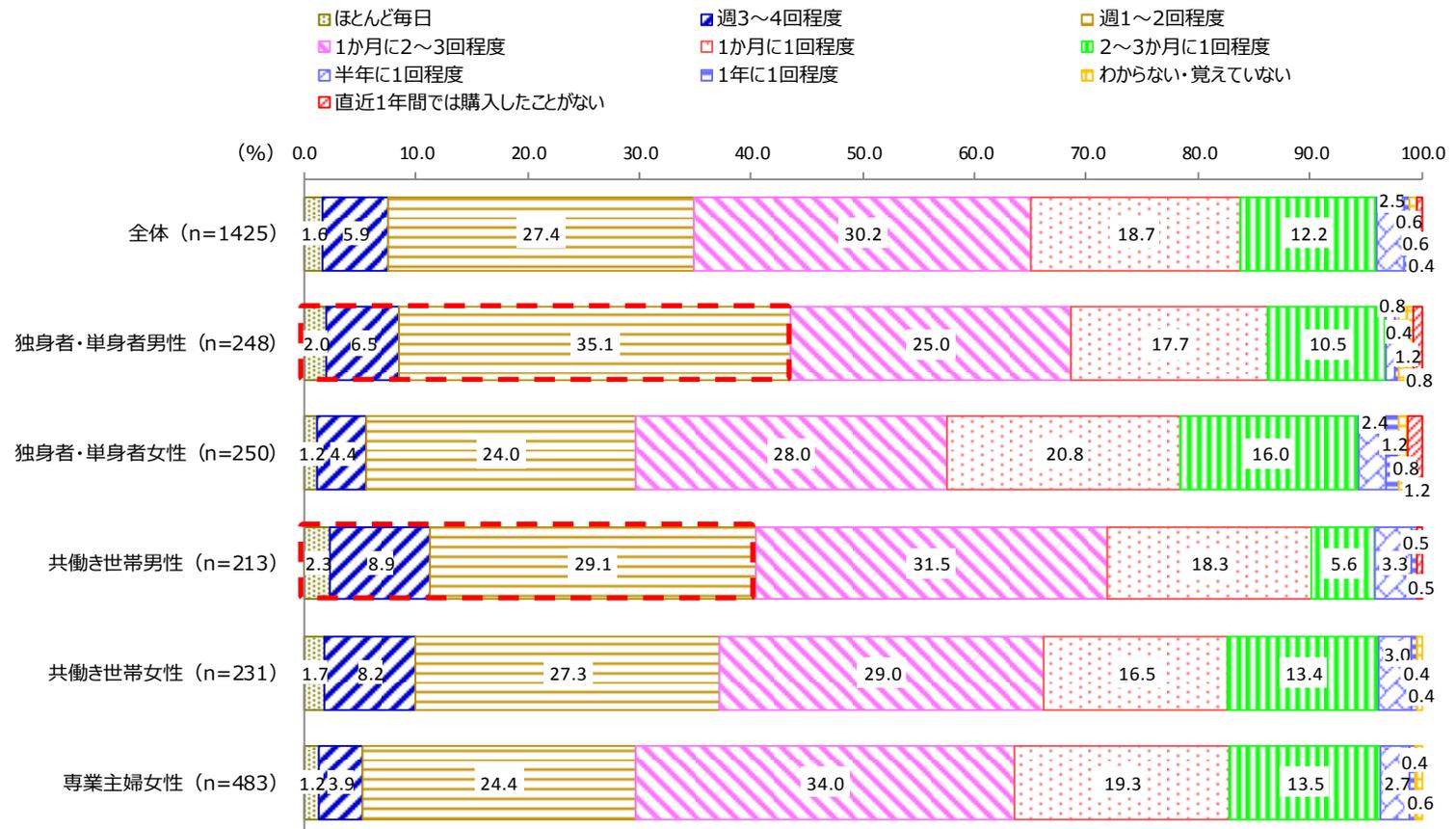
購入頻度＜冷凍調理食品＞③【専業主婦】



■ 『冷凍調理食品』の購入頻度を性別・属性区分別に見ると、『独身者・単身者男性』の「週1回以上(「ほとんど毎日」+「週3～4回程度」+「週1～2回程度)」の割合が43.6%で最も高く、次いで『共働き世帯男性』が40.3%で続くなど、男性の方が、購入頻度が高い傾向が見られる。

Q6 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」をどの程度の頻度で購入していますか。直近1年間の購入頻度をお答えください。(それぞれ1つずつ)

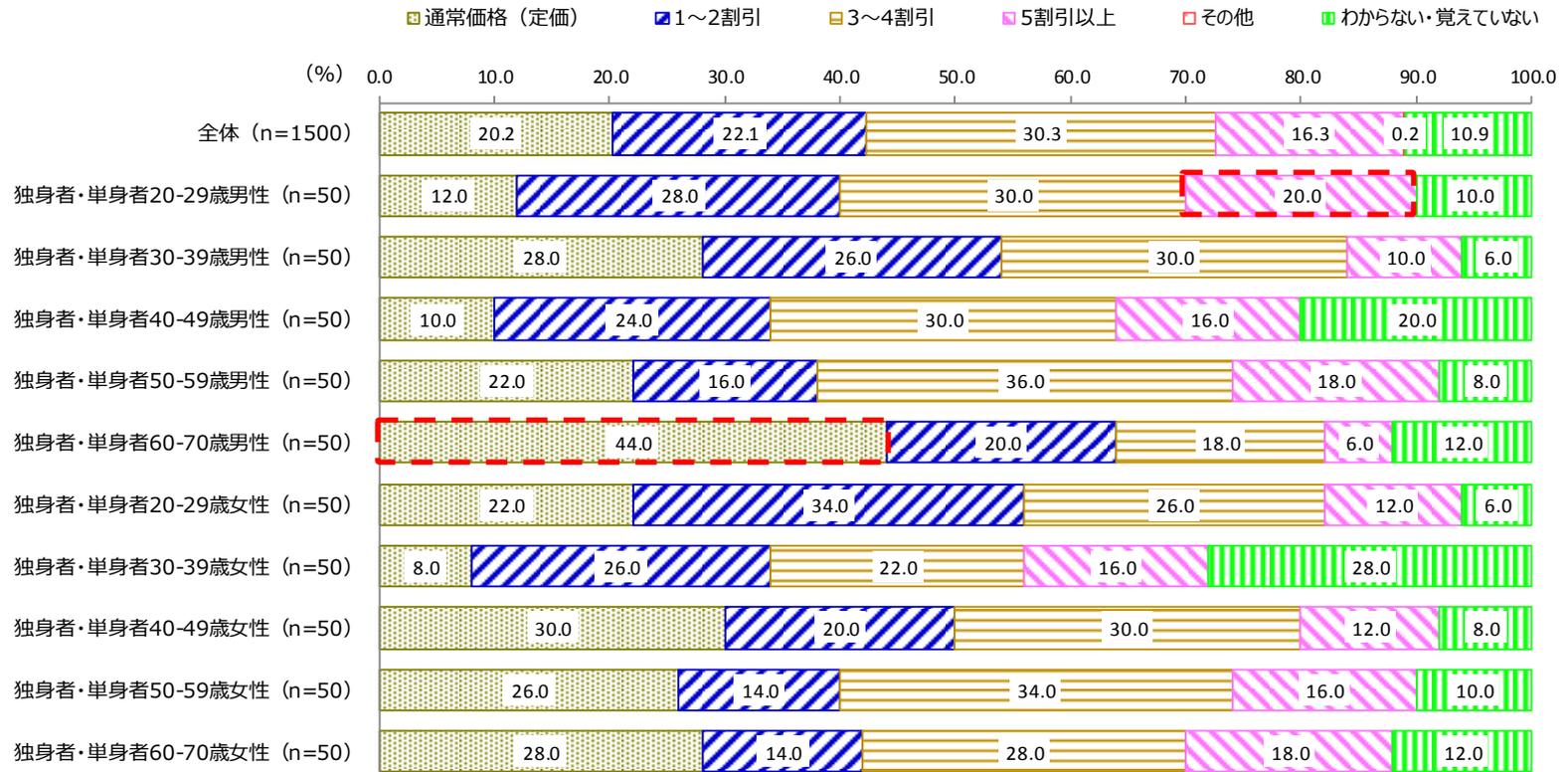
購入頻度＜冷凍調理食品＞④【性別・属性区分別比較】



- 購入時の割引率について、『独身者・単身者』を見ると、『60-70歳男性』は「通常価格(定価)」の割合が44.0%と高くなっている。
- 一方、『20-29歳男性』は「5割引以上」の割合が20.0%で最も高くなっている。

Q9 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に、どの程度の割引率で購入する事が多いですか。次の中から当てはまるものをお答えください。(1つだけ)

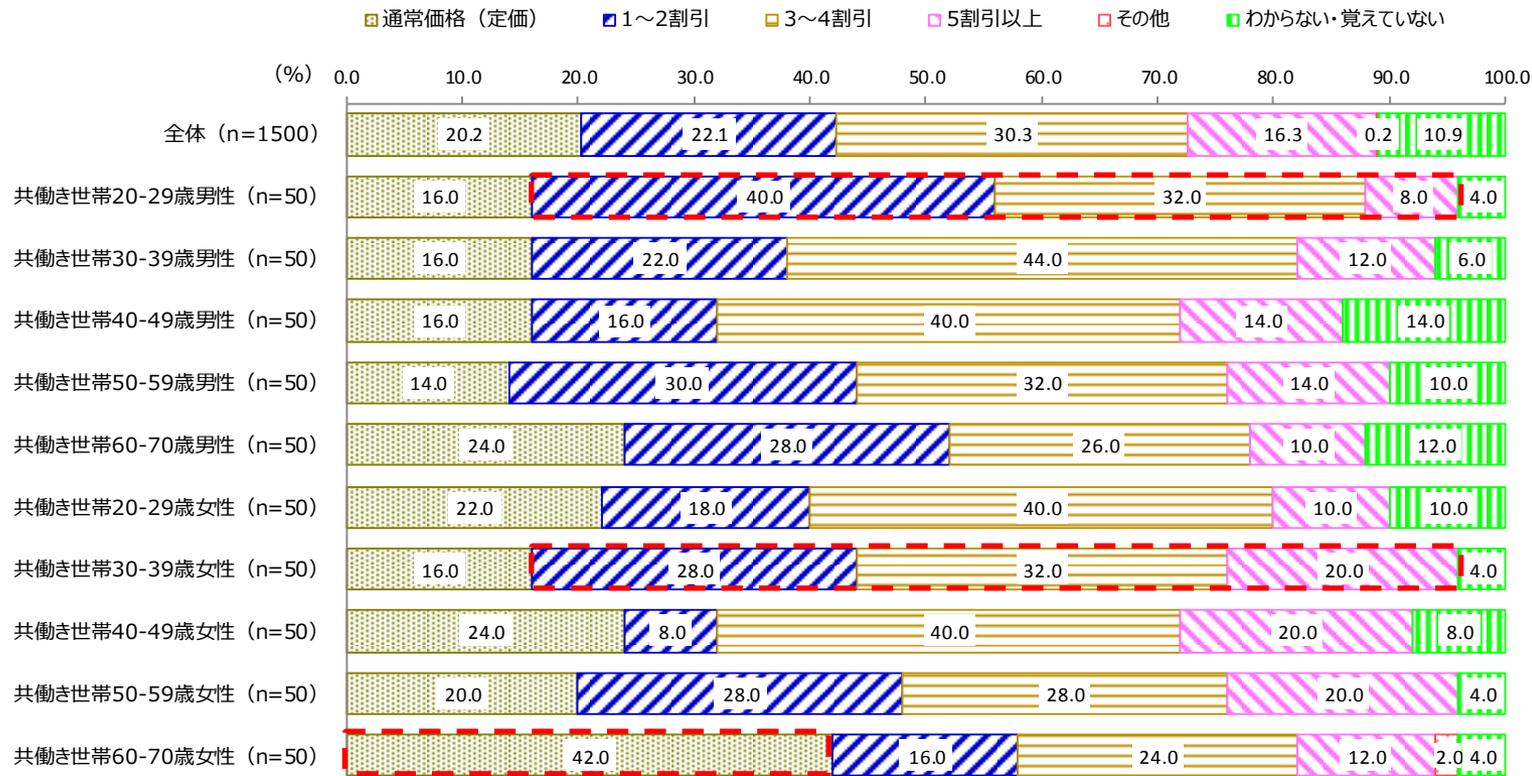
購入時の割引率①【独身者・単身者】



- 購入時の割引率について、『共働き世帯』については、『60-70歳女性』の「通常価格(定価)」の割合が42.0%で最も高くなっている。
- 一方、『20-29歳男性』、『30-39歳女性』は割引購入(「1~2割引」「3~4割引」「5割引以上」の合計)の割合が80%で最も高くなっている。

Q9 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に、どの程度の割引率で購入する事が多いですか。次の中から当てはまるものをお答えください。(1つだけ)

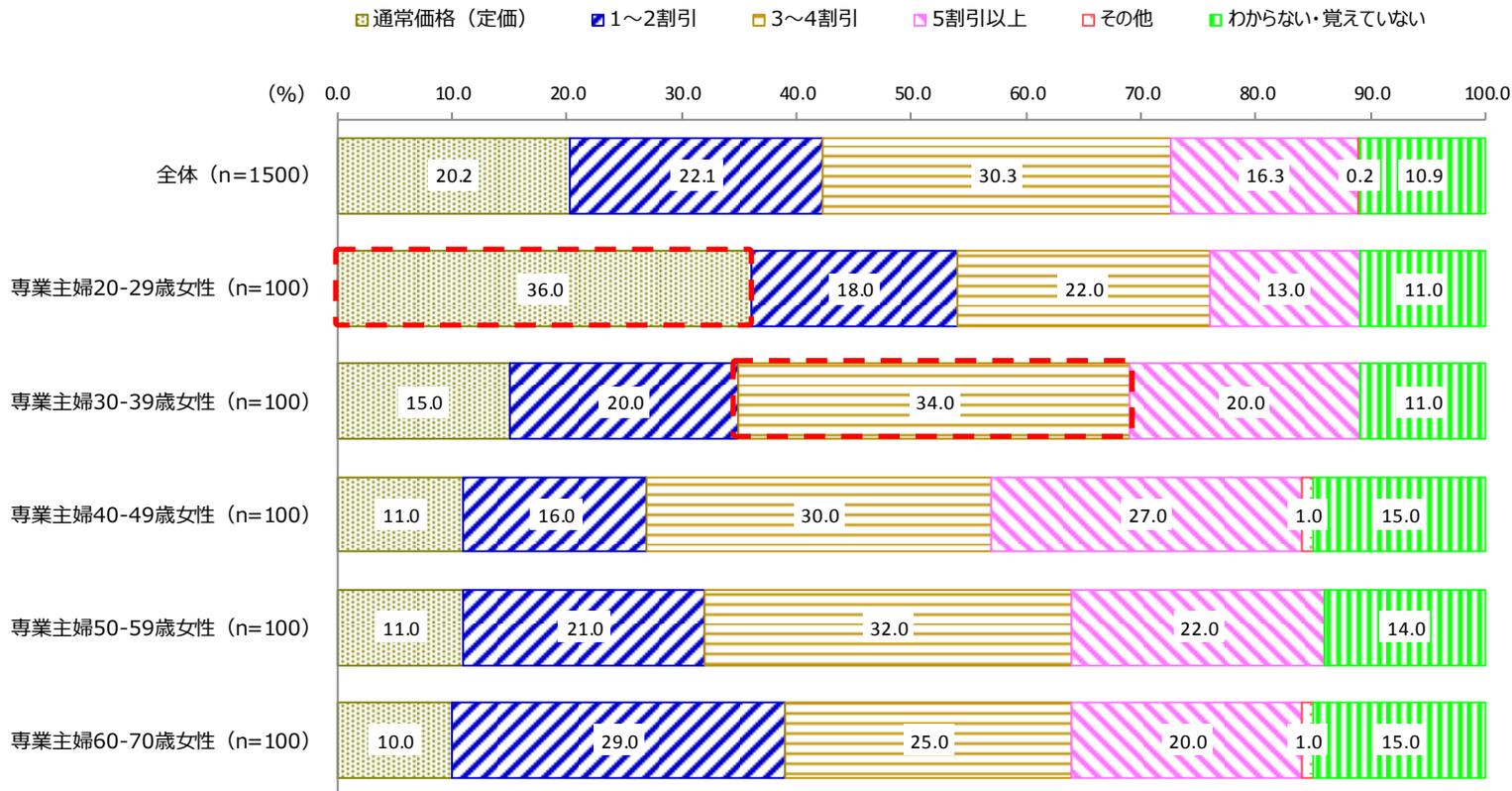
購入時の割引率②【共働き世帯】



- 購入時の割引率については、『専業主婦』を見ると、『30-39歳』の「3～4割引」の割合が34.0%で最も高くなっている。
- 『20-29歳』は「通常価格(定価)」の割合が36.0%と、他の年代に比べかなり高くなっている。

Q9 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に、どの程度の割引率で購入する事が多いですか。次の中から当てはまるものをお答えください。(1つだけ)

購入時の割引率③【専業主婦】

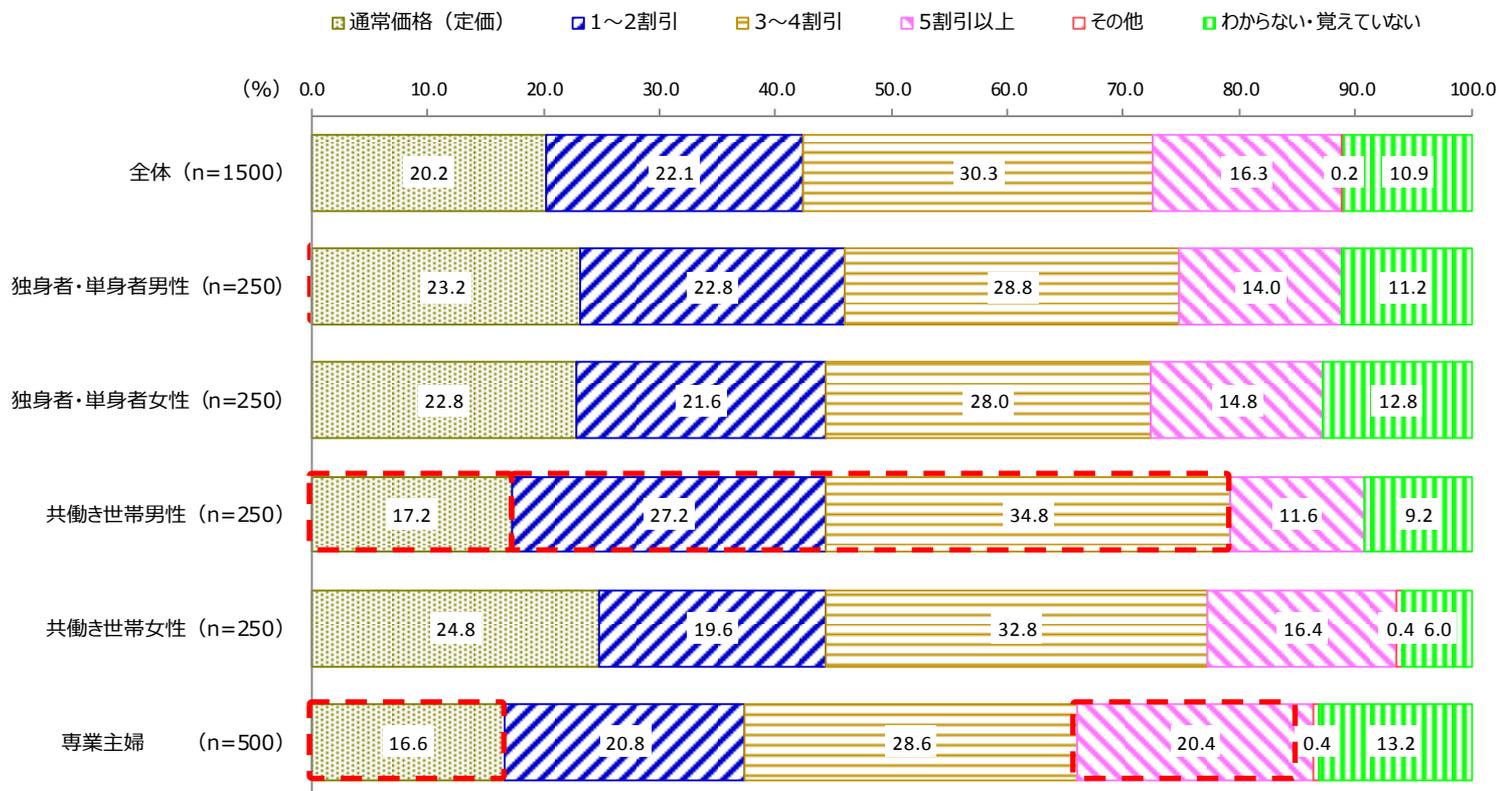


2-4 購入時の割引率④【性別・属性区分別比較】

- 性別・属性区分別に見ると、『共働き世帯男性』は「1～2割引」が27.2%、「3～4割引」が34.8%と、それぞれ他の属性区分と比べ最も高くなっている。
- また、『専業主婦女性』は「5割引以上」の割合が20.4%で最も高い。
- 『共働き世帯男性』、『専業主婦』ともに「通常価格(定価)」の割合が20%を切っており、割引購入の割合が高いと考えられる。

Q9 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に、どの程度の割引率で購入する事が多いですか。次の中から当てはまるものをお答えください。(1つだけ)

購入時の割引率④【性別・属性区分別比較】



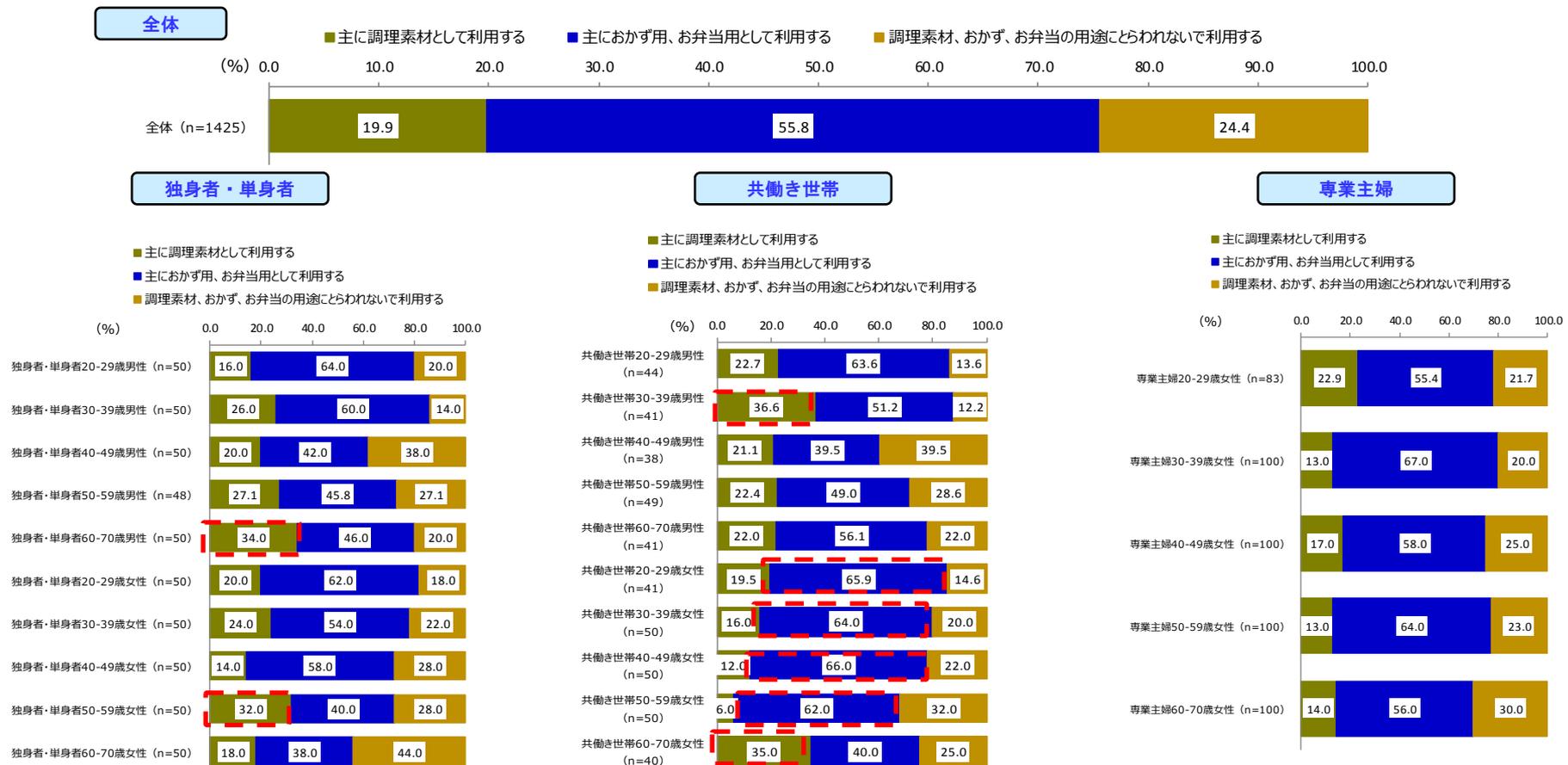
- 『冷凍野菜』の利用用途については、女性の『独身者・単身者30-39歳』、『共働き世帯30-39歳』が「主に調理素材として利用する」の割合が高くなっている。
- 『共働き世帯』は、男女共に『20-29歳』において「主におかず用、お弁当用として利用する」割合が他の年代に比べ高くなっている。
- 『専業主婦』は、『60-70歳』において「主に調理素材として利用する」の割合が高くなっている。

Q11 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主にどのような用途で利用されていますか。(それぞれ1つずつ)



- 『冷凍調理食品』の利用用途については、女性を中心に「主におかず用、お弁当用として利用する」割合が高い。中でも『共働き世帯』の女性は60%を超える年代が多くなっている。
- 「主に調理素材として利用する」をみると、『独身者・単身者60-70歳男性』、『独身者・単身者50-59歳女性』、『共働き世帯30-39歳男性』、『共働き世帯60-70歳女性』の割合が高くなっている。

Q11 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を主にどのような用途で利用されていますか。(それぞれ1つつ)



- 原産国表示のチェック有無については、「いつもチェックする」割合を見ると、『共働き世帯60-70歳男性』が60.0%と最も高くなっている。また、40歳以上の女性でも割合が高い傾向が見られる。
- 『独身者・単身者50-59歳男性』、『独身者・単身者60-70歳男性』、『専業主婦20-29歳女性』は、「チェックしない」割合が20%を超えている。

Q17 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を購入する際に原産国表示をチェックしますか。(1つだけ)



- 安全性に対するイメージについては、「安全だと感じている」割合が、『共働き世帯20-29歳男性』で48.0%、『共働き世帯60-70歳男性』で34.0%と高くなっている。
- 一方、「不安を感じることもある」については、『共働き世帯50-59歳女性』が48.0%と高くなっている。

Q18 あなたは、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」の安全性に対するイメージで当てはまるものをお選びください。(1つだけ)



■ 『冷凍野菜』の味に対するイメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、「冷凍野菜のほうがおいしくない」と感じている割合は、主に『50-59歳』で高くなる傾向がみられる。

Q19 「冷凍野菜」の味に対するイメージを、生鮮野菜と比較してお答えください。(1つだけ)



- 『冷凍調理食品』の味に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、『共働き世帯40-49歳』の男女で「冷凍調理食品のほうがおいしくない」の割合が高くなっている。
- また、『独身者・単身者60-70歳男性』、『共働き世帯60-70歳男性』も「冷凍調理食品のほうがおいしくない」の割合が高い。
- 一方、『独身者・単身者50-59歳女性』は、「冷凍調理食品のほうがおいしい」の割合が40.0%と高くなっている。

Q20 「冷凍調理食品」の味に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)



■ 『冷凍野菜』の栄養価に対するイメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、『独身者・単身者男性』において、30～70歳の中では、若い年代ほど「冷凍野菜のほうが栄養価が少ない」とする割合が高くなっている。

■ 『専業主婦』についても、『独身者・単身者』同様、若い年代ほど「冷凍野菜のほうが栄養価が少ない」の割合が高い傾向がみられる。

Q21 「冷凍野菜」の栄養価に対するイメージを、生鮮野菜と比較してお答えください。(1つだけ)お答えください。(1つだけ)



■ 『冷凍調理食品』の栄養価に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、『独身者・単身者20-29歳女性』の「冷凍調理食品のほうが栄養価が少ない」の割合が60%を占め、高くなっている。

■ 全体として「冷凍野菜」に比べて「冷凍調理食品のほうが栄養価が多い」の割合は高く、『独身者・単身者50-59歳女性』、『共働き世帯20-39歳男性』の26.0%が最も高い割合となっている。

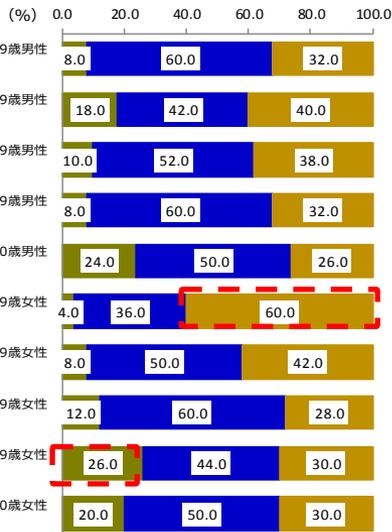
Q22 「冷凍調理食品」の栄養価に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)

全体



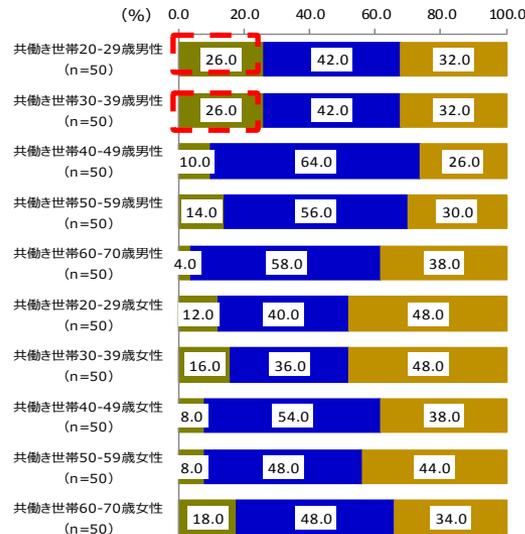
独身者・単身者

■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が多い
■ 自分でつくるものと変わらない
■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が少ない



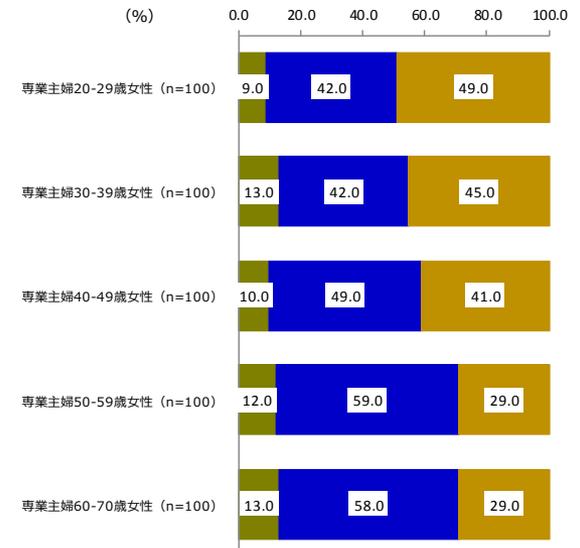
共働き世帯

■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が多い
■ 自分でつくるものと変わらない
■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が少ない



専業主婦

■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が多い
■ 自分でつくるものと変わらない
■ 冷凍調理食品のほうが栄養価が少ない



- 『冷凍野菜』の価格イメージについては、『生鮮野菜』と比較したところ、『独身者・単身者男性』は30～70歳にかけて、若い年代ほど「冷凍野菜のほうが高い」とする割合が高くなる傾向がみられる。
- 一方、『共働き世帯男性』は30～70歳にかけて年代が上がるほど、「冷凍野菜のほうが高い」とする割合が高くなる傾向がみられる。

Q23 「冷凍野菜」の価格に対するイメージを、生鮮食品と比較してお答えください。(1つだけ)お答えください。(1つだけ)



■ 『冷凍調理食品』の価格に対するイメージについては、『生鮮野菜調理品』と比較したところ、『独身者・単身者30-49歳男性』が「冷凍調理食品のほうが栄養価が多い」とする割合が高くなっている。

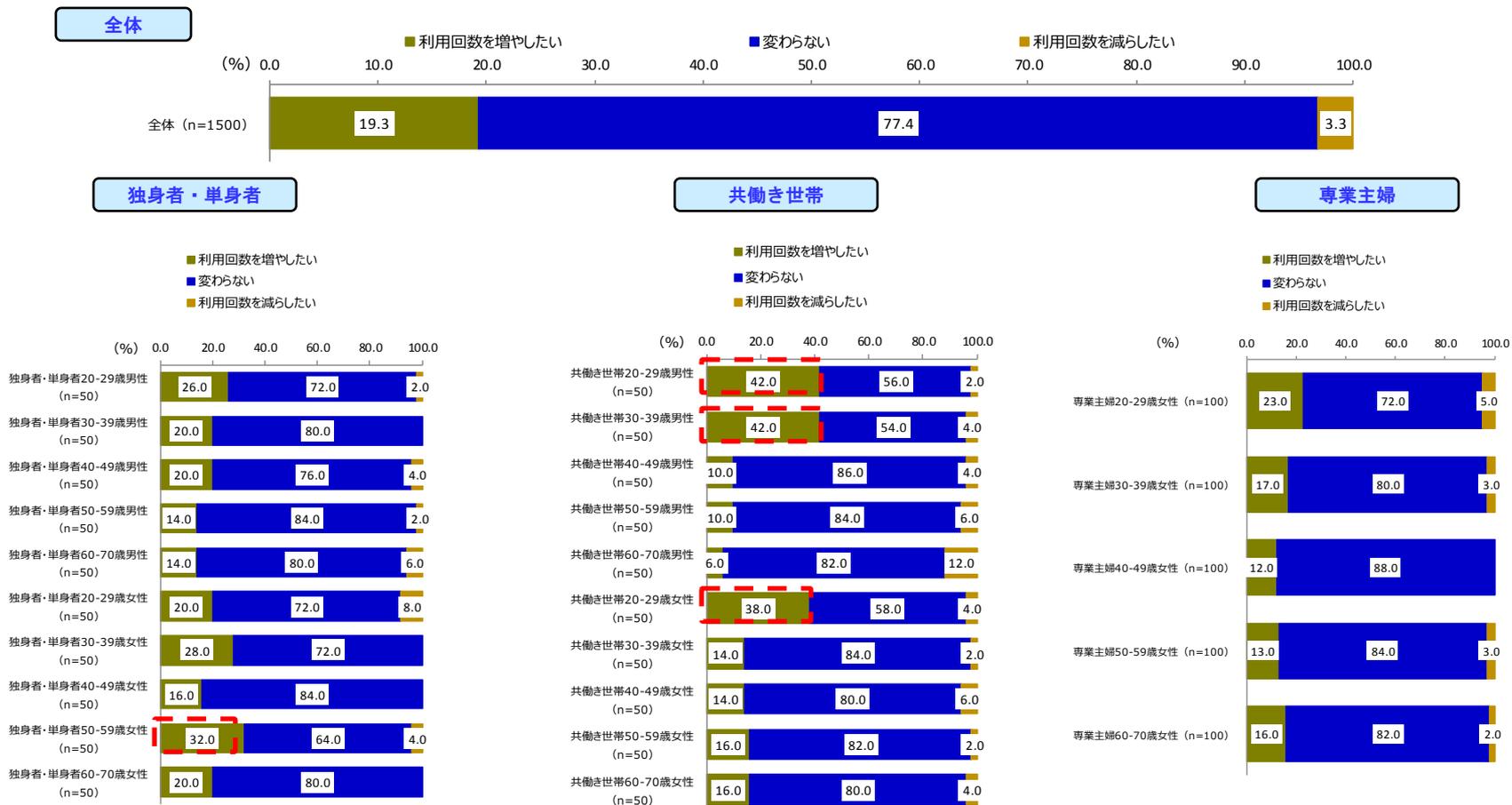
■ 『共働き世帯』は男性に比べ女性のほうが、「冷凍調理食品のほうが栄養価少ない」とする割合が高い傾向がみられる。

Q24 「冷凍調理食品」の価格に対するイメージを、生鮮野菜と他の具材を調理したものと比較してお答えください。(1つだけ)



- 『冷凍野菜』の今後の利用回数の増減意向については、全体として「変わらない」の割合が高いが、『共働き世帯20-39歳男性』は、「利用回数を増やしたい」の割合が40%を超えている。
- 同様に『独身者・単身者50-59歳女性』、『共働き世帯20-29歳女性』も「利用回数を増やしたい」の割合が30%を超え高くなっている。

Q26 あなたは今後、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を利用する頻度に当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)



■ 『冷凍調理食品』の今後の利用回数の増減意向については、『冷凍野菜』同様、全体として「変わらない」の割合が高いが、『独身者・単身者30-39歳男性』、『独身者・単身者50-59歳女性』、『共働き世帯20-39歳男性』、『共働き世帯20-29歳女性』は「利用回数を増やしたい」の割合が30%を超えている。

■ 但し、『共働き世帯20-29歳女性』については、「利用回数を減らしたい」の割合も20%と、他の属性区分に比べ高くなっている。

Q26 あなたは今後、「冷凍野菜」「冷凍調理食品」を利用する頻度に当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つつ)

